

GP 香港 2018

参加記



2018/9/14 (金) - 2018/9/16 (日)

KITEC

GP 台風でした



目次

この本について	3	ちえけださんと合流して夕食など	20
GP 香港 2018 について	3		
参加を決め航空券と宿を購入	4	2018 年 9 月 15 日(土)	
参加パッケージとその申し込み	4	GP 本戦初日の朝	21
マンクットの襲来	5	GP 本戦（モダン）開始	22
		大勢での中華料理	25
2018 年 9 月 12 日(水)		女人街へ	26
GP 香港への参加を見合わせる方々	7	土曜日終了	26
		2018 年 9 月 16 日(日)	
2018 年 9 月 13 日(木)		GP 会場にたどり着けません	27
つながらない、電話	8	籠城の準備と朝食	28
羽田空港へ	8	籠城開始	29
		籠城中	30
2018 年 9 月 14 日(金)		ちょっと外の様子を見てくる	30
帰りの予定もなく香港へ	10	ちえけださんが帰りの航空券を購入	32
空港で朝食	10	GP 台風の終了	34
帰りの便の手配がまだできず	11		
KITEC へ移動	11	2018 年 9 月 17 日(月)	
帰りの便を変更	12	ちえけださん帰国の日	36
会場入り	13	倫敦大酒樓で飲茶	36
GP はシグナル 10 でも中止しません	13	ちえけださんを送る	38
昼食と LCT シールド待ち	14	支度をしてチェックアウト	38
Last Chance Trial シールド ポッド 1	14	吉野家の月餅	39
会場を離脱	16	今夜からの宿を確認	40
Me Easy Hostel でチェックイン	17	マカオレストランで昼食	41
ベトナム風マッサージ	19		

足マッサージ	42	ギャラクシー	61
チェックイン	43	セナド広場へ	62
重慶大廈の探検	44	マカオ観光	63
重慶大廈の付近を散策	45	ウィン・カジノ	65
洗濯にチャレンジ	45	再びギャラクシーでひと勝負	65
重慶大廈の料理店	46	マカオ離脱	66
部屋に戻りシャワー	47	帰りの戻り先を間違える	67
		かつや	67

2018年9月18日(火)

香港島を観光の日	48
乾燥機と散歩と朝食	48
部屋の整頓	49
ビクトリア・パーク	50
文武廟	50
担々麵	52
ソーホーに登る	52
さらに頂上を目指す	53
ビクトリア・ピークへのトラム駅へ	54
トラムのチケットを買うには…	55
尖沙咀へ戻り、足マッサージ	56
中華料理店で夕食	57
スーパーで買い物	57

2018年9月19日(水)

マカオ観光の日	58
マカオへのフェリー窓口	58
マカオへのフェリーに乗車	59
マカオに到着	60
ベネチアン	60

2018年9月20日(木)

深圳観光の日	48	68
深圳へ	49	68
深圳に入る	50	69
ショッピング・モールに入る	50	70
昼飯	52	70
足マッサージ	52	72
香港へ	53	72
ブルース・リー像	54	72
夕食	55	73

2018年9月21日(金)

FNMの日	57	74
重慶大廈の光と闇		74
おつまみ		75
エヴァのコラボレストラン	58	75
全身マッサージ	58	76
アニメイトへ	59	77
FNM 会場の店舗を確認	60	77
エヴァのコラボレストラン、再び	60	78

男人街へ	79	2018年9月22日(土)	
FNM ドラフトへ	79	帰国の日	82
帰国の準備	81	空港へ	82
		ゲート前へ	83
		最後のおかいもの	84
		帰国	84

この本について

本書は2018年9月14日（金）～16（日）にかけ香港 KITEC で開催されたマジック・ザ・ギャザリングのグランプリ（GP 香港 2018）に、プレイヤーとして参加した筆者の記録です。ただし今回に関しては台風騒動と香港旅行がメインなのですが。

現地の金額表記は原則として HKD（香港ドル）で行いました。為替レートは 1HKD=14.5 円くらいだったようです。体感的には 15 円。

GP 香港 2018 について

GP（Grand Prix; グランプリ）というのは、1年に50回くらい世界のあちこちの都市で開催されているカードゲーム「マジック・ザ・ギャザリング」の大会です。世界中から500-3000人くらいのプレイヤーが集まって、日本でも1年に4回ほど開催されます。GP 香港 2018（※1）は香港で2018年に開催された大会ということになります。主催は2018年からは Channel Fireball（※2）統一ですが実働は Panda Events（※3）で、会場は KITEC（※4）でした。

※1 <https://www.pandaevents.cn/detail.php?city=GP%20Hong%20Kong>

※2 <http://store.channelfireball.com/>

※3 <http://www.pandaevents.cn/index.php>

※4 <https://www.kitec.com.hk/eng/index.php>

参加を決め航空券と宿を購入

基本的に筆者は、近場の海外のGPにはお金や有休などに余裕がある限り参加することをパターンにしており、GP 香港も当然のように参加を決め2月早々に航空券を香港エクスプレス（※1）のセールで購入しておりました。往復たったの22,220円。

そして香港は「日本から行きやすい」GPであることからアラジンさんとちえけださんを誘ってGPのホテル相乗りを誘うとともに、GP終了後の日曜の夜にマカオに遊びに行くプランを立てて7月頃にはbooking（※2）でマカオの日曜の宿をキャンセル可能な形で予約したうえで、香港の宿としてはミーイージーホステル（※3）を予約しました。

マカオのホテルは総じて部屋が広いので追加ベッドで3人1部屋をシェアできたのですが、どうも香港は3人だと「2人部屋を2つ」借りる形になってしまい割安感がなかったのですが、このへんは「できればもう1人誘って4人にする」方向で3人でシェアすることに。また通常は自分はbookingでは「直前までキャンセル可能」な予約をすることにしていましたが、どうもこの宿の場合はキャンセル可能な部屋では「決済エラー」が発生してしまったため「ええいキャンセル不可のほうが安いしいや」ということで確定の予約をばちって2部屋の金土をHKD 2,500（確定で36,013円）でばちってしまいました。

今にして思うとあのランクの宿で1部屋1晩HKD625でもそもそも高くない？と思う所ですが、たぶんこれは香港の「中秋の観光シーズン」であったためかとも。

※1 <https://www.hkexpress.com/ja/>

※2 <https://www.booking.com/>

※3 <https://www.booking.com/hotel/hk/me-easy-hostel.ja.html>

参加パッケージとその申し込み

今年からはGPは全部完全にChannel Fireballが仕切ることになったことからシステムも色々変更されました。またGP香港ではいわゆるVIPサービスはありませんでした。VIPの有無はともかく、基本的にはパッケージは世界統一になりつつあるようです。

本戦	USD 70	・ GP 本戦の参加権 ・ スタンド ・ スリープイン (BYE 持ちプレイヤーのみ) ・ GP プロモ (変わり谷)
スーパー パッケージ	USD 23	・ 金曜 10:30 のスーパーラストチャンストライアルシールドの参加予約
プレイマット パッケージ	USD 20	・ GP 本戦プレイマット ・ 金曜 15:00 のベターバリューラストチャンストライアルシールドの参加権

とりあえず本戦とプレイマットパッケージを申し込んで USD90 を支払いました。金曜はサイドイベントで遊ぶ気まんまんだったのでスーパーパッケージも申し込むべきだったのですが、このときはプレイマットパッケージの参加権のあるトライアルを 11:00 からと勘違いして「両方出られないよね」と思いスーパーをキャンセルしてしまったのです。実際には 15:00 からなので普通に「両方出る」ことができたのですが。

マンクットの襲来

これで必要な予約は終わったので通常ならばあとは準備をしつつ当日を wtkk して待つだけだったのですが、今年の GP 香港ではかなり事情が異なりました。

自分が認識したのは 9 月 10 日 (月) の夜でしたが、台風 22 号 (マンクット) が、勢力を増しているというもので、このままだと日曜月曜に香港を目指しているように見えました。帰りの飛行機大丈夫かなあ。

台風22号(マンクット)に暴風域12日(水)頃に「猛烈な」勢力へ



この時点ではまだ先日大被害を受けた関空の絡みで「関空からの香港エクスプレスの便は名古屋か福岡からの無料振り替えを行っている」という告知しかなかったのですが…。

そして11日(火)の朝に事態はさらに悪化。台風22号は「非常に強い」と形容されて、何よりもカーブを描いて日曜の夜に香港を直撃するようには見えました。

ここに至り「日曜の夜にマカオに移動して一晩遊んで月曜の朝に香港に戻って空港へ直行して帰国する」というプランは無理があると判断。特に、月曜の朝に香港に戻り損ねて飛行機に乗り損ねたら目も当てられないと判断した(この頃はまだ飛行機が動くかと思っていました)ため、アラジンさんと



ちえけださんの2人に連絡し同意を得たうえ**マカオプランを破棄**します。ホテルをキャンセル無料にしていたので、この点ではダメージはありません。同時に日曜も香港に延泊の必要が出たため同じミーイージーホステルの2部屋を追加で1泊。ちなみに予約を「変更」しようとしたらエラーになったので別途で2部屋の予約を行いました。

値段は今度はHKD626(9,018円)でした。普通に前回予約したときの**半額近い**んですがキャンセルが多発したんでしょうね…。「キャンセル可」にできていれば再度予約し直せば半額近くに宿代を抑えられたのに…。

同時に宿にメールして「できれば同じ部屋に連泊を頼む」と伝えましたが返事なし。まあ日曜に部屋を移動してもいいんだけどね(GP会場に荷物を持っていく必要は消えた)。

そして今回の台風22号の規模と日曜の夜に香港直撃?の報道が伝わるなかで「そもそも月曜に飛行機飛ぶのかコレ?」「日曜にGP中止になったりしないのか?」と囁かれます。

なお本書には関係ありませんので割愛しますが、この日は新宿で「マジック25周年展」が開催され、大変に盛況な滑り出しを見せたようです(自分も行きました)。

2018年9月12日（水） GP 香港への参加を見合わせる方々

12日（水）になっても事態は好転せず「シグナル8になると車が空を飛ぶ」「シグナル8になれば香港では会場が閉鎖されGP日曜は中止になるのでは?」「17日（月）の便で日本に帰れると思わないほうが良さそうだ」という予想が立ち始めます。

そして香港エクスプレスの次のアナウンスにより、月曜に帰れないことは確定しました。

- ・ 16日と17日に香港空港を発着する便は**全便欠航**
- ・ 16日と17日に香港空港の発着便を予約された方には全額返金に応じる
- ・ 16日と17日に香港空港の発着便を予約された方には発地と着地が同じ便であれば、無料で14日以内の別の便に変更可（のち30日以内に）
- ・ 16日と17日に香港空港の発着便を予約された方には発地と着地が異なる便であれば、差額の支払いのみで14日以内の別の便に変更可（のち30日以内に）

ここに至って、あるいは火曜も有休をとるかなーと考えていたアラジンさんや、ちえけださんも予定通りに金曜行くかキャンセルするかどうかを大きく悩み始めたようでした。

そしてプロの方の何人かも「参加を見合わせ」を表明しました。彼らにしてみれば帰国の日程はともかく「日曜になってからGP中止になったら行った意味がない」ことも大きかったようです。

その一方で自分は「無職なので月曜に帰国の必要はない。むしろ無理に飛んで事故られるよりマシ」「日曜にGPが中止になったら、もしかしたら本選参加者の全員にゴールデンチケットが発行されるのでは」（2日目上位に無縁の自分としてはおいしい）とも。

月曜に帰る必要はない自分は気楽に「じゃあ何日か香港観光を楽しんでから帰ろうかな」とも思っていたのですが、香港エクスプレスのサイトで調べるとすでに金曜まですべての昼間便は完売し、わずかに木曜・金曜の深夜の便が残っていました。

そしてあまり考えずにチケットを取った自分の帰国便は「成田着」だったのですが、金曜までの便は深夜を含め「羽田着」のみ。つまり自分が「差額無料」で帰国するには最速で22日（土）の便。これは「羽田・成田を同じ着地と看做して差額無料で羽田の深夜便に変更できないか?」と思ったため、香港エクスプレスのサポートにメールを出しました。

2018年9月13日（木） つながらない、電話

そして自分が夜には香港に向かう13日（木）の朝になっても事態は好転せず昨夜送った変更依頼メールへの返信も来ません（そりゃまあ向こうも大変だろうしな…）。

荷造りをしていて、今回は滞在中の着替えも増量をすることにしたので荷物が7kgでは足りないと思われたので行きの荷物も増量20kgまでを購入。これは仕方ないですね。

結果的には空港で測ったら行きの荷物も10kgあったので、これは正解でした。

この頃には日本での情報も錯綜しており「日曜はGP どころかホテルから出られないのでは」「日曜の飯はホテルでカップ麺では」「現地では土曜に買い占められているかもしれないから日本からカップ麺を持参すべきか」とか色々と言われていました。自分は「日曜は一步も出られないかもしれないがカップ麺持参はさすがに」と思いました。

昼になっても昨夜のメールの返事がなかったので、仕方なく香港エクスプレスの日本でのサポートの電話番号に電話をして「成田→羽田の無料変更交渉」も含めた変更依頼をすることにしました。のですが電話が「話し中」で一向につながりません。1時間そのまま

待ってもつながらず、2時間待ってやっと誰かが出たと思ったら相手は日本語も**英語も通じない**というどこに転送されたんだ案件（香港本社かなあ…）で、中国語らしくもまったく会話が成立しなかったもので、こちらから切る。

かけなおして1時間たっても今度はまたどこにもつながらない。これはどうやら電話にはもう期待せずに「羽田の香港エクスプレスのカウンターで、日本人相手に話そう」という結論になったため、予定をだいぶ早めて16時過ぎにはもう家を出ることにしました。

行きの便は金曜午前1時羽田発だから、20時頃にゆっくり出る予定だったんだけどな…。

羽田空港へ

電話をかけている間に荷造りは妻が済ませていたので、16時半には家を出て亀有行きのバス停へ。そしてこの頃には帰国便の目処がつかなかったアラジンさんも、金曜に出国の

予定をキャンセルしての香港不参加を決定（ホテル折半分は払って貰うことに）。

金曜夜に香港入りの予定のちえけださんは、まだ迷っているようでした。

17時には青砥駅に着き、17時17分には羽田空港行きの京成線に乗車します。

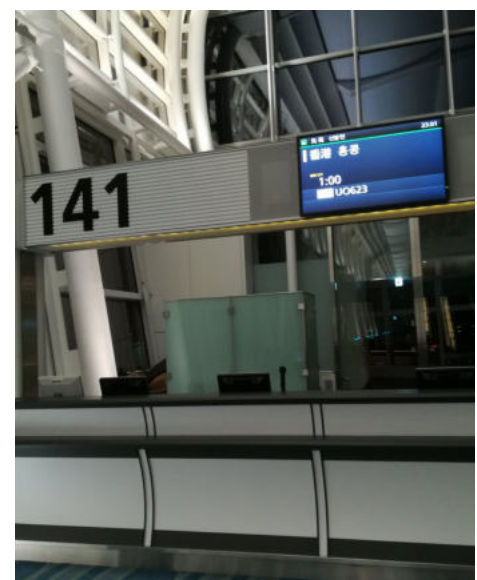
のんびり1時間ほど車中で座って過ごすうち羽田空港国際線ターミナルに到着。さっそく香港エクスプレスのカウンターで話をするか…と思ったものの、香港エクスプレスは常設カウンターはなく到着便の3時間前である22時にAカウンターが開くとのこと。なんてこった！予定を4時間早めた意味が**まったくなかった**！（笑）

18時半には吉野家へ入り、夕食。食後、電源と机を確保。時間があったのでそこからはネットで3時間ほど作業をしたうえで、21時半にAカウンターに移動する。列ポールを立てている職員に聞いてもいまひとつ要領を得なかったので、いったん戻って20分後にまた戻ってきたら今度は結構な列ができていた。ちえっ。そのままそこに居るんだった。カウンターに30分ほど並び、とりあえず今夜の便については発券を終了。カウンターで帰りの便の変更について聞くも「システム上、ここで便の変更はできません。サポートの電話で依頼してください」と番号を書いた紙を手渡される。うん知ってる僕はその番号に今日の昼間に**3時間かけ続けた**よ（そして何の成果も得られませんでした）。

とりあえず香港エクスプレスのお膝元の香港でなら、あるいはカウンターでの変更が可能かもしれないから、香港で再度チャレンジするしかないのかな…。

カウンターを離れてセキュリティとイミグレを通過し、23時には141ゲートに到着。あとは待つ乗るだけ。

一応ゲート前でも念のため電話をかけ続けるも、当然ながらもまったくつながらず。ていうか渡された紙をよく見たらサポート時間は**昼間のみ**でした…かかる緊急事態だからサポートを増員するという風でもないようでしたし、つまり無駄無駄無駄ア。



2018 年 9 月 14 日（金） 帰りの予定もなく香港へ

案内に従い搭乗し、1 時に羽田を発ち香港へ。4 時間のフライトは基本は浅いものの寝て過ごしたうえで、午前 4 時 8 分に香港に到着（時差が 1 時間のため日本時間では 5 時 8 分。ここからは香港時間で記します）。

ゆるゆると降りて 4 時半にシャトルに乗ります。座るなり白木原さんが挨拶をしてくれます。を、同じ便だったのですね。

シャトルから施設に入り、4 時 50 分には入国。では朝飯にしますかということで 2 人で歩いていると後ろに日本人の方 1 人がついてきます。GP 香港に参加されるプレイヤーの方ですかと聞くとその通りで、モリヤさんという方でした。海外 GP にはしばしば参加をされて結果も出しているものの香港は初めてだということで、別に邪険に扱うこともないのでそのまま行動を共にすることにしました。旅は道連れ。

空港で朝食

市内へのシャトルの始発は 6 時のようでもあるので手近なファストフードの店に入り、5 時 15 分に朝食にします。味は普通。

白木原さんとモリヤさんが朝食後の雑談をしている所を幸い、荷物を置いて席を離れコンビニに行き HKD100 で SIM を購入。



今回は店員のアシストはなかったものの、裏面のコードリストを見ながら「7 日 3GB」という項目が HKD68 とあったので、これだなと思いつつ PIN コードを入力したら果たして普通に通信ができるようになった。よし。過去の例では何も考えず使っていたら 3GB は使い切ったので、その際には HKD32 のプリペイド分が残っているのを覚えておこう。

帰りの便の手配がまだできず

急ぐこともないので引き続き3人で飯屋でだらだらしていたものの、6時を回りいささか店内が混雑してきたので店を出ることに。すでに市内への鉄道は動いているものの、まだ会場は開いていないし今すこし空港施設内でスマホの充電をすることにしました。

一応はこちらの香港エクスプレスのカウンターでも帰りの便チャレンジをしてみるという自分に合わせて3人で出国ゲートのフロアに移動し、充電コーナーを発見。

自分の荷物と2人を充電コーナーに残して香港エクスプレスのカウンターに移動。ここはさすがにお膝元なので香港エクスプレスのカウンターは（他の会社と兼用の形で）常設の状態であったものの、問い合わせるとやはり「便の変更はカウンターではできずサポート番号に電話」のみであると知ります。お膝元でもそれかい。

香港から日本へのつながらない電話は論外だったので、こちらの電話で英語でやり取りをするしかないのかな…とうんざりする。

KITEC へ移動

そろそろ7時。会場は9時に開くということなので、あと小1時間ほどもここでスマホの充電をしながら雑談のうえ会場に向かうことにしました。白木原さんは今日は市内観光の予定を入れたようなので別れ、自分はモリヤさんとタクシーで行くことにしました。

空港から会場まではHKD300 はかかる筈なのでちょっと1人タクシーはノーサンキューですが、1人でもエクスプレスで市内へと移動してからタクシーを拾ってもHKD150 くらいはかかる筈だし、大荷物があるのでまあ2人で割ればトントンかなという感じ。ということで7時半過ぎには白木原さんと別れてモリヤさんとタクシー乗り場へ移動し、乗車。何ごともなく8時20分には会場 KITEC に着きました。ただし開場は10時のようでした。1時間半ありますね。



帰りの便を変更

モリヤさんと別れて開いているカフェに入り、レモン水を注文。HKD10。本当は「かき氷」を頼みたかったのですが昼からのメニューだとのこと。残念。

そして涼みながら現地 SIM の番号から香港エクスプレスのサポート番号に電話しますが、予想通りまったくつながりません。さすがにかかる状態で電話をつないで帰りの便を電話口から英語で予約（しかも成田行きを羽田行きに差額無料でもできないかのかの交渉を含めて）できるとは全く思えなかったので、諦めてノート PC を広げて起動。



ブラウザから香港エクスプレスのサイトにログインして、自分の予約画面を開き、さらに土曜の成田行きの便の「変更」ボタンがまだ選択可能になっていることを確認のうえで「実行」し、そのまま決済画面まで進んで「変更完了」。

もとより差額の何万円もを払う気は全くなかったので「羽田」への変更便は選択せず。ていうかこの頃にはもう深夜便を含めて来週平日の羽田便はほぼ完売していたようです。なお「同一発地・着地の便であれば無料で変更可能」というルールは画面に適用されていなかったで、形式的にここで自分も土曜の成田便への「差額」を6万円ほど支払う形で決済を行ったのですが、翌月末払いのクレカ明細をチェックしたら**案の定**これが課金されていたので香港エクスプレスにクレーム電話を入れて返金手続きを取りました。

ともあれ、この変更についてはちゃんとメールで変更通知も届いたし、どうやら航空券の購入は普通に成功したようでした。色々ありましたが、これで帰国は22日の土曜に確定したことになりました。

これは土曜に参加を予定していた新宿でのジャッジカンファレンスは「キャンセル」することになったことを意味します（ジャッジフォイル入手手段でもあるので割と残念）。

そして同時に、これで来週の月曜～金曜はフルに**香港5日の観光**ができることを意味していました。予定を立て追加の宿を取る必要もありますが、たっぷり遊ぶぞう（笑）。

会場入り

そろそろ 10 時になるので 3 階に移動し、会場入り。
そして入場してから気がつきましたが 10 時半からの
「スーパーシールド LCT」へのオンライン申し込みを
忘れていました。しまったー！

オンデマンド LCT の開催は正午からなので、少なく
ともあと 1 時間半は何もやるものがありません。



「変わり谷」プロモを配っている列が
あったので、自分も並ぶ。

案の定 DCI を照会してプロモと一緒に
GP プレイマットを受け取れました。

同時に 15 時からの Value Last
Chance Trial の参加権チケット獲得。
これも参加したいよね…。

GP はシグナル 10 でも中止しません

エントリーを終えて暇だったので会場をぶらぶらと歩いていると、本選のブースで PC を
操作していたハンス（地域コーディネーター）が居たので、声をかける。さっそく台風の
ことと GP 日曜中止の可能性について聞くと「たとえシグナル 10 になろうとも GP は中止
しません」との力強い言葉。えっ、そうなの？ この KITEC 施設自体の閉鎖もありえる
話だと思っていて、それを断言できる権限はないとも思ったのだが（笑）。

とはいえ「せっかく来ても 2 日目になって GP が中止になったのではな」と思ったプロの
方も多そうではあるので、これは早めに告知して欲しかった話ではありますね。

昼食と LCT シールド待ち

11 時になったので、正午からのフライト

「ラストチャンストライアルシールド」

ポッド 1 に HKD 230 を支払う。さて、

これであとは待つだけだ。

プレイ前に早めの昼食を済ませておくこ

とにしたので、1 階に下りてマクドめし

HKD24。もぐもぐ。朝の薬も飲む。



そして正午になったので、さて LCT シールドの対戦組み合わせは…と思ったらまだ掲示
されていません。そっか、まだ人数に達してなかったか…今回は構築 GP だしなあ。

仕方ないのでそのままスリーブを整えたり QJ と雑談などしているうちに **1 時間が経過**。

うーん…このシールドにさくっと参加したうえで、速攻で負けたら 15 時からの Value
Last Chance Trial に参加したかったのだからなあ。

結局、さらに待ってポッド 1 のシールド LCT が立ったのは 13 時 48 分。これは 1 回戦で
速攻負けても 15 時からのシールド参加は無理かな。あっちはお得だったんだけど。

Last Chance Trial シールド ポッド 1

まずはレアチェック…涙が出るほど安い。

コモンとアンコモンを見て、デッキは青赤で行くことにする。

リミテではそこそこ強いレアもあるのは幸いだが、青のカスレアは
色が合っていてもリミテですら入らない。

しかしまあ、そこそこ行けそうな気がするデッキにはなかったが、
どうかな。答えはまもなく。

《機械と共に》
《至高の幻影》
《聖句札の死者》
《吐炎》
《安全の護符》
《混沌のワンド》

取りレア

Creatures: 15	Spells: 9	Lands: 16
《前兆語り》	《爆発性の機器》	《島》* 8
《エイヴンの風魔道士》	《霊気トンネル》	《山》* 8
《飛行の先駆者》* 2	《予期》	
《排斥する魔道士》	《分散》* 2	Sideboard:
《技量ある活性師》	《本質の散乱》	《萎凋》
《ボガートの粗暴者》* 2	《稲妻の一撃》	
《どぶ潜み》	《吐炎》	
《空中走査器》	《混沌のワンド》	
《秘密の回収者》		
《包囲破りの巨人》		
《機械職人の守護者》		
《火山のドラゴン》* 2		

構築デッキ

Round1 Zhangさん 白青黒 x○○

G1 後手マリガン1で、土地が詰まってやりたいことができず負け。

G2 回って勝ち。

G3 回って勝ち。

Round2 Chenさん 白赤 ○○

G1 回って勝ち。

G2 回らず負け。

G3 クリーチャー事故で死にかけるも、こちらブロッカーがなく相手が《どぶ潜み》と《騒乱の悪魔》で殴ってきて死を覚悟するも、4 マナ浮かせていた《混沌のワンド》を回すとめくれた《反逆の行動》。喜んで《騒乱の悪魔》を奪い《どぶ潜み》をブロックして倒す。さらに《騒乱の悪魔》を焼いて場をきれいにしたうえで以後は毎回《混沌のワンド》を回すと、《苦しめる声》で2枚引けたり(手札の土地を捨てた)、本体に《溶岩の斧》を打ち込んだり、そうこうするうちに殴りに行くと、もう1枚の《反逆の行動》で相手のブロッカーを排除して殴ってフィニッシュ。
相手のデッキと噛み合った結果ではあるが《混沌のワンド》ガチャつえー。脳汁が出た。

Round3 Jimさん 白緑 ○××

G1 相手の土地事故で快勝。

G2 こちらがクリーチャー事故っていた所でアジャニさんこんにちは。忠誠度を削れず奥義まで伸ばされたので投了。

G3 これは行けるかな…の手札でキープしたら、4枚目の土地を引かずに終了。

ざんねん！ここで勝てれば次のラウンドは300チケを差し出し2BYEを貰う予定だったのに！（実際、片付けている最中に目の前でそれをやっていた）。

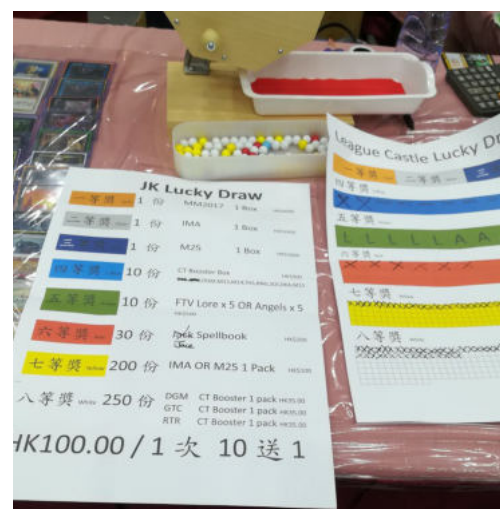
とはいえ200チケを獲得できて、ほくほくでした。何に交換しようかなー（伏線）。

会場を離脱

シールドのラウンド3を回ると17時を回っており、ドラフトも締め切りました。これであとは買い物くらいしかやることはありません。そしてこの頃には、迷っていたちえけださんも**GP 香港参加**を決めて日本を発っていました。従ってこれから自分も宿を発見してチェックインし、ちえけださんを部屋に案内できる状態にする必要があるでしょう。とはいっても、ちえけださんの到着にはまだ数時間あり余裕なので、会場を一回りしてから離脱することにしました。

パックくじ。1～3位までが「マスタース1箱」というのは魅力ですが、1回HKD100でハズレが安めの1パックというのはさすがに見送り。ただ回す度に出た玉を記録しているのは公正な感はありました。もっとも1～3位はまだ出てませんでしたけど。

あと日本で一瞬だけ人気とプレミアのついた「アンステーブル」はもう普通にHKD23で買えました。



Me Easy Hostelでチェックイン

17時半には会場を出る。まだ明るい。ちえけださんは22時到着の予定だから、まだまだ余裕だな。宿に荷物を置いたら外でぶらぶらして、夕食はちえけださんの到着後に一緒に食べることにしよう。

会場を出たところでタクシーを拾い、20分で旺角（モンコック）の駅前に到着。さて目的のホテルは…ということでサイトの住所と地図をもとに「新興大廈（Sun Hing Building）」という目的の建物を探し発見。彌敦道（ネイザンロード）沿いの建物であり、これは悪くない。あとはこのビルのどこかに目的の宿があるはずだが、香港のホテルは**ここからが本番だ**。



まずはホテルサイトの住所に「12 樓 1207 室」とあったことから数台のエレベーターの中から 12 階に止まるものに乗って 12 階に移動し、1207 号室を探す。そして迷路の様な廊下を探して 1207 号室を発見するも、張り紙が張ってあり呼び鈴を押しても誰も出ない。張り紙を読むと電話番号と共に「受付は 1416 号室」という軽いジャブ。電話をかけると相手が出て英語が通じたので、エレベーターで 14 階に移動し、1416 号室に入る。

バスタオルが山積みの部屋の奥のカウンターでチェックイン手続き。予約は確認できた。2031 号室と 2032 号室ということで、カードキーの 2 枚をまず受け取る。キー代ということだろうがデポジット HKD200 を支払い、領収書を受け取る。

部屋に案内して貰う際に受付のおばちゃんがバスタオルを 4 枚取ったので「待てよ」と思ってチェックアウト日を聞くと「日曜日」との返事。あ、追加の 1 日分が入ってないやコレ。そこでカウンターに戻って「追加で 1 泊予約を入れたのだが」ということで台帳を照合して貰う。別の 2 部屋の予約があることを確認できたので「引き続き同じ部屋で」という依頼を通し、これも OK になった。

ここで「そういえば自分は結局、土曜まであと 5 泊の延泊が必要なんだよな」と思い出したので「月曜から 5 泊を、別に 1 人部屋を取れるだろうか」と聞いたことから相手が少し混乱し、また料金も HKD 2,000 を提示されたので「ん？ 高くね？」と思ったことから、

この話は「また後で」ということで打ち切り、部屋に案内して貰うことにしました。

ちなみにこのタイミングで追加のバスタオル2枚を貰うのを忘れたので、これは後ほど再度1416号室を訪れて貰いました。

別のエレベーターで20階に移動し、細い廊下を移動して非常口前のドアを開け、さらにそこから鍵のかかったドアを自分たちのカードキーで開けて通ります（2枚双方で確認）。これは「203ブロック」への扉であるようで、その先の数室のうち一番手前の2室が自分たちが借りた2031号室と2032号室のようでした。

双方のドアがそれぞれのカードキーで開くことを確認したうえで、バスタオル4枚をおばちゃんから受け取り、おばちゃん退場。

部屋のチェックを開始。基本的には寝るだけの部屋ですがアラジンさんがキャンセルしたので2人部屋の2つをそれぞれ自分とちえけださんが使うことに。その意味では比較的広々と使えます。ベッドと枕は乾燥していて清潔感あり。エアコンの効きは良し。冷蔵庫なし。Wifiの品質も両部屋とも問題ない模様。テレビは…1部屋は映らなかったもののもう1部屋の方で内容を確認したら別にエロチャンネルもないしどうでもいいと判断したので、テレビの映らない手前の



2031号室を自分が、2032号室をちえけださんが使うことに決めてから、自分の荷物を2031号室に置きました。あとは双方の部屋にバスタオルを2枚ずつ。

なお以後もいちいち断りませんが、香港の階数は「グラウンドフロア」がある英国式であるため、ここでの2031号室というのは日本では「21階」になります。

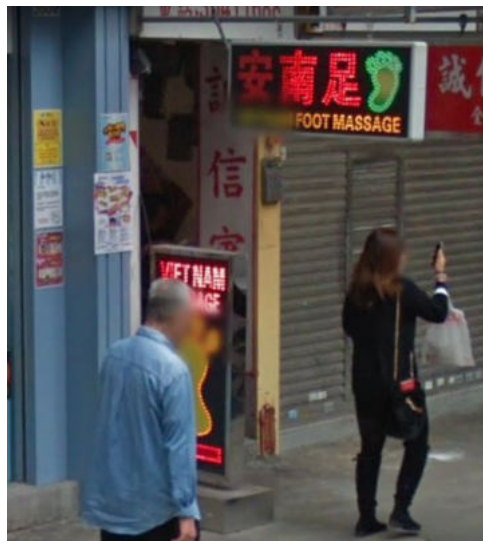
ベトナム風マッサージ

荷物を置くとそろそろ 19 時。ちえけださん到着は 22 時過ぎの予定なので、まだ 3 時間ほどあります。ともあれ外を散策することにしました。

信和中心（シノセンター）が彌敦道を挟んで向かいにあることに気がついたので、覗いてみました。しかしぶらぶら歩くも特に買いたいオタクグッズや漫画本などはありません。最上階にある日本の AV の海賊版 DVD を売っている 2 件の店がまだ潰れていないのには少し驚きました（何も買いませんでしたが）。小一時間ほども歩いて信和中心を出ます。再び彌敦道を渡って戻り、今度は宿の周囲を歩きます。

まだそれほど疲れてはいなかったものの、時間的に「足マッサージ」を受けるのはアリかなとも思ったので裏手の 2 階にあった「ベトナム風マッサージ」店に入りました。

店の看板の写真を撮り忘れたので、右の画像は Google StreetView から引用しました。



足マッサージの料金を見ると「45 分で HKD168」とあり、そんなものかなと思い頼むと、おばちゃんが「ボディマッサージ込み 75 分 HKD240 でどう」と

薦めてきました。時間もあったので「んー、それもありがなあ」と思って応じます（やや高めですが、まだ相場とか香港ドルのレートに慣れていなかったり）。

奥の暗い個室に案内されるなり、おばちゃんが「シャワー浴びるかい」と薦めてきます。

この時点で**風俗の臭い**に気がつくんですが、そこはスルーして、シャワーも断って足とボディのマッサージが開始されました。昨夜は 4 時間ほどしか寝ていなかったのでベッドでうつぶせになってマッサージをされているうち、睡魔に襲われ気持ちよく意識を失います。…その後、マッサージ自体は普通に終了したようでしたが、ここで案の定おばちゃんが「スペシャルマッサージ」を薦めてきました。右手をシェイクさせるジェスチャーつき。普段なら応じる気はなくともネタのために「いくら」と聞くのですが、この時は頭が半分

寝ていたのでそれも行わずに「ノーノー」と言って断って終了。特にそれ以上のしつこい売り込みなどはありませんでした。っていうか本気でそれを目的とさせる店ならそもそもマッサージ嬢はおばちゃんではなく**若い娘**だろうし、マッサージ中も身体を密着させたり太ももをさわさわしてその気にさせてくるよね、とは思いました（笑）。

支払いの際に、財布の中に HKD500 札しかなかったのをそれを渡すと、特にボッタくるでもなくレジから帰ってきて釣銭 HKD260 を手渡してきましたが、ここでおばちゃんが「チップくれ」と言うので「まあいいか」と思いつつ HKD20 札を渡して終了。

宿に戻ると 21 時半になりました。PC を起動するとちえけださんから「空港の荷物待ち」という連絡も入ったので、じゃああと 1~2 時間だろうかと思いつつ、部屋番号を伝えたくて「ビル 1 階に到着したら降りるから連絡よろしく」と伝えて到着連絡を待つことに。

ちえけださんと合流して夕食など

部屋で今日のマジック日記を DiaryNote に書いたり、来週 5 日泊まる宿を探して結局は尖沙咀（チムサーツイ）の重慶大廈（チョンキンマンション）にある UK Hostel を予約したり（個室と個室シャワーの部屋で 5 泊でたったの 12,516 円）。

そうこうするうち、ちえけださんから「着いた」の連絡が入ったので 1 階へ。実は連絡を読み落としてちえけださんをしばらく 1 階で待たせたらしい（スマヌ）のだが、ともあれ迎えて上ってちえけださんの荷物を部屋に置き、夕食に。



時間も 23 時を回っていたので何も考えずにビル近くの中華料理屋に入って、2 人とも別々の炒飯を注文してぱくぱく。味はまあ普通。まだ香港ドルを確保していなかったちえけださんの分は今日は立て替えました。

食後コンビニに寄ってそれぞれ飲み物やアイスなどを購入し、明日の予定を確認したうえ別れて部屋に戻ると日付が変わっていたので、シャワーを浴びアイスを食べて 1 時就寝。

2018年9月15日（土） GP 本戦初日の朝

7時過ぎに起床。台風は速度を落としてまだフィリピンのあたりをうろうろしていたようであり、この速度なら今日は普通に遊べる筈だし明日の朝も会場にたどりつけるようなら何とかなるのかなあ。明日の夕方に帰れるかどうかは考えない方向で（笑）。

8時にちえけださんと宿を出て、流しのタクシーを拾い会場へ。

昨夜オンラインのデッキ登録に間に合わなかった（零時締め切り）のでバイ持ちの僕らもプレイヤーミーティングが9時に始まる前に会場に行って紙で提出しよう…と思ったわけですが、果たして8時25分に会場に着いたら、まだ開いていませんでした（笑）。

しかしさすがに8時半には会場が開いたので入って紙のデッキリストを提出し、ちえけださんが会場で書き上げたデッキリストを提出したのちに、2人で朝飯にすべく会場を出ます。

朝食は、近くのカフェで洋風軽食セット。HKD45。
うん、いい感じ。おいしく頂きましたよもぐもぐ。



のんびり朝食にして、コンビニにも寄って飲み物とお菓子を買ってから会場に戻ると9時半。

コンビニのペットボトルを手にしたままで会場入りしようとしたちえけださんが入り口で怒られたので、いったん下がってボトルを鞆の中に入れてから再入場。そういえばKITECでは「会場への飲み物持ち込み禁止」だったんだよね…本気でそうならドリンクベンダーを置いたりすべきだとも思うのですが、基本は入り口チェックなだけのザル。

会場に入ると1回戦が始まっています。オンラインペアリングが機能しているようなのでスマホのパンダアプリをダウンロードして起動。あ、Webサイトに無い開催時間とかの告知とかは、こっちのアプリでやっていたんですかパンダさん…。

GP 本戦（モダン）開始

10 時過ぎに 1 回戦が終わって、いよいよ自分の戦いも始まります。デッキは 5 月の GP ラスベガスでも回して 5-3 だったホロウワンをそのまんま。さて、どうなるかな。

Creatures: 24	Lands: 18	Sideboard:
《炎刃の達人》* 4	《山》* 2	《洗面の溶岩使い》* 3
《恐血鬼》* 4	《沼》	《致命的な一押し》* 3
《炎跡のフェニックス》* 4	《血の墓所》* 3	《古えの遺恨》* 3
《通りの悪霊》* 4	《踏み鳴らされる地》	《血染めの月》* 3
《虚ろな者》* 4	《乾燥台地》* 3	《虚空の力線》* 3
《黄金牙、タシグル》	《血染めのぬかるみ》* 3	
《グルマグのアンコウ》* 3	《樹木茂る山麓》* 2	
	《黒割れの崖》* 3	
Spells: 18		
《燃え立つ調査》* 4		
《信仰無き物あさり》* 4		
《稲妻》* 4		
《ゴブリンの知識》* 4		
《集団的蛮行》* 2		

Round2 フルヤさん 白青赤 ジェスカイコン ××

使用デッキ

相手もバイ明けの日本人で、なごやかにコミュニケーションを取りながら進めました。

G1 最初は順調に展開するも《終末》を打たれて全部ライブラリーの底に流れて息切れして、やがて向こうが《天界の列柱》で殴り始めたので投了。

G2 向こうの勝ち手段を防ぐべくサイドインした《血染めの月》がカウンターされて、こちらのその後の展開も悪く、やがて《精神を刻む者、ジェイス》が着地したので投了。

Round3 Latさん 白青緑 人間バント ○○

G1 向こうが有効打を引かなかった感じで快勝。

G2 向こうの《教区の勇者》も焼けて勝ち。

このころは「を、まだいける？」と思っていました…。

Round4 Chenさん 白赤 X○X

G1 殴られて負け。

G2 殴って勝ち。

G3 殴られて負け。土地が詰まり気味の所に《スレイベンの守護者、サリア》を出され展開も悪く、何より大型生物に《流刑への道》を3発も打たれて息切れ。

Round5 Kaiさん 白黒緑 ○XX

G1 明らかにヤバそうな《献身のドルイド》を見るなり焼けて勝ち。

G2 相手のライフ6まで追い込むも《献身のドルイド》を焼けず、その次のターンに《療治の侍臣》が着地して無限マナのコンボ成立。相手はそこから《召喚の調べ》で《歩行バリスタ》を手札にサーチし、あとはそれを置いて本体無限ダメージで終了。

G3 こちらの土地が2枚で止まり、あれだけあるドロー&ディスカードも引かず除去も引かず、そのまま向こうが普通に展開して無限コンボが決まって終了。

これで2-3。早くも本戦の不通過が確定です。

あと3回「勝てば24点」のPWP稼ぎで遊んで、今日はおしまいようです…。

Round6 Cheeさん 青緑 感染 XX

G1 こちらの打点が悪く除去も引かず。相手は1ターン目に《貴族の教主》、2ターン目に2体目の《貴族の教主》と《ぎらつかせのエルフ》、3ターン目にエルフで毒を3（賛美2）、4ターン目に《ペンデルヘイヴン》で+1し攻撃（賛美2）したエルフのブロックをしなかったので《殺戮角》を手札から捨てて+3でぴったり毒10で終了。うん、やはり感染は2回目を通すと終了ですね。1体は殴らずにチャンプブロッカーで立たせるべきだったかな。失敗。《稲妻》を引けていたならまだしも。

G2 こちらは対策として《致命的な一押し》をサイドインするも、相手がサイドらしい《呪文滑り》を置いてきて除去ができなくなり、こちらの打点も悪くライフを3点まで削れたものの、毒3→9→投了の流れで負け。

Round7 Daohengさん 白青 XX

2-4 ラインでもあり割と初心者らしい方。こちらが日本語カードを出すたびにジャッジを呼んでオラクルを求める…のは別に構わないのですが、英語版のカードを出したときにもジャッジに「中国語版のテキストが欲しい」と請求していたのは競技レベルとしてはどうなのかな、とも。まあ目くじらを立てる話でもありませんが。マジックはカードの英語のテキストを覚えるゲームではないのです。

そして何よりもそんな割とプレイングの甘い方にも負けるのが今日の自分の弱さ（泣）。本日の二度目の白青コンの系列で、負け方も基本、同じ。

G1 序盤でのこちらの展開を《終末》で流され、その後も3点まで追い込むも《精神を刻む者、ジェイス》を出されて投了。

G2 早々にサイドインしたらしい《安らかなる眠り》を貼られて墓地復活系が全滅し、その後も手札からのクリーチャー展開を《終末》で流されたうえ早々に《精神を刻む者、ジェイス》も出されて相手に13点も残したまま投了。

Round8 Ruiさん 白青緑 XX

G1 相手が2ターン目に《至高の幻影》を置いたうえ、3ターン目に2体目の《至高の幻影》を置いて2/4飛行で殴って、4ターン目に3体目の《至高の幻影》を置いて3/5飛行2体で殴るという「いやちょっと待って」な展開（笑）。そして何よりもこちらの引きと打点がまったく悪く、相手はブロッカーを置く気もなくただ飛行を置いて殴ってきただけなのに10点も残して負け。

G2 さすがにさきほどのブン回りは見せなかったものの、今度はこちらの加速系呪文を《呪文捕らえ》や《差し戻し》でテンポを大幅に奪われて負け。的確なサイド感。

これで2-6で終了。うん割と惨敗。でも色々なデッキに当たれたのでこの前のニッセンのスタンよりは楽しかったな…いいなモダン。

明日は会場が開いていればリミテに出まくる予定だけど、開くのかなあ、立つのかなあ。

大勢での中華料理

そろそろ 19 時。あとは帰って夕食にするだけですが、ちえけださんが知人らしい数名と話しています。自分とは特に面識のない方々ですが、どうやらこれから皆で夕食に行くという流れのようであり別に「お前は来るな」という話でもないので混ざることにしました。タクシーに分譲して移動。割って HKD66.5。

まずは皆が泊まっている油麻地の駅そばのホテル城景国際（The Cityview）に移動し、荷物を置いたりしながら全員が揃った後、夕食に行くことに。

最初に近くの玩具店ばかりのモール康祐大廈（Onward Building）に入り、その中にあるレストランに入ることを試みるも、混雑していたので見送ったうえ、モールを出て近所の中華料理屋へ。

大きな丸テーブルを全員で囲み、1 人が中国語で店員と話せるレベルの方だったので基本その方に「おまかせ」してどんどん頼み、ひとしきり箸をつけて全員が満腹。

たのしい。やはり中華料理はこれが最高ですね。支払いは均等割で、楽しく別れて終了。



女人街へ

楽しい食事を終えちゃけださんと徒歩で彌敦道を北上し宿に戻り、自分は1416号室に寄ってバスタオルを2枚確保してから1枚をちゃけださんに渡して部屋に戻ってもまだ21時前。

さすがにまだまだ寝るのには早いので、宿を出て彌敦道を横断して旺角駅の東の女人街へ。

さっそく「ニセモノアリマス」の看板が出迎えるなかをだらだら進んで買うものを物色します。

結局のところは寝間着の代わりの安いTシャツを5枚HKD100で買ったくらいで23時過ぎに宿に戻りました。

あとはそれほど書きたいことはありません。



土曜日終了

だらだらネットなどしているうちに、日付も変わりました。

台風は、やや西にそれている感があるものの引き続き香港を目指しています。

このぶんだと明日の夕方の帰りは大分心配ですが、明日の朝は普通で会場にたどりつけるかな？そして果たしてGP香港2日目は予定通りに強行開催できるのかな？

答えは明日として、寝ます。



2018年9月16日（日） GP会場にたどり着けません

6時20分、起床。

8時に宿を出て会場に向かう構えで、昨夜のマジック日記などまとめる。

窓を少し開けて手を出す限り、雨は降っているようだが風はさほどではないのでこれなら普通にタクシーや公共交通機関は動いているのではないかと、と思って8時に宿に出る。

路地裏にあったテントの店で HKD40 の傘を買ってから、通りに出てタクシーを拾おうと試みるも、空車灯のついている車の前で手を挙げても何台も無視される。

その後、泊まったタクシーに行き先を聞かれて九龍湾と答えると断られる。ありゃ。

さらに別のタクシーを捕まえて九龍湾と言うと **HKD500** をふっかけられる。あるいは HKD200 くらいならもう乗ったかもしれないが、さすがに断った（通常は HKD70 ほど）。

仕方がないので MRT で行くことにする。タクシーを拾いながら南のほうにだいぶ歩いていたので油麻地駅に入る。駅でうっかり2つ並んでいたホームへの下りエスカレーターのそれぞれにちえけださんと乗ったらそれぞれが別の路線のものであり（掲示を見落としていました）合流に手間取りロスタイムなどしたものの8時半に MRT 觀塘線に乗車します。9時に会場入りがやや厳し目になった感じですが、まあサイドイベントの締切はもう少し先。ともあれこれに9駅乗っていれば九龍湾駅に着きますので、のんびりネットなど。…ところが九龍湾駅のひとつ前の彩虹駅で MRT が停まって、そろそろ全員が降ります。あれ、この電車は彩虹駅停まりだったのかなと思ったらそうではなく「台風の影響でここから先への**運転は見合わせ**ます」とのこと。えっ。あとひと駅なのに！

ともあれここで会場の最寄り駅に MRT でたどり着けないという事態に「どうすべえ」とちえけださんと相談。あるいはあと1駅だから外へ出てここから KITEC までタクシーというのも可能だったかもしれませんが（さすがに HKD500 ではあるまい）が、外の状況は不明であり「公共交通機関でたどり着けないのでは GP 中止じゃね？」と思ったことから2人とも参加を見合わせておとなしく帰ることにしました。

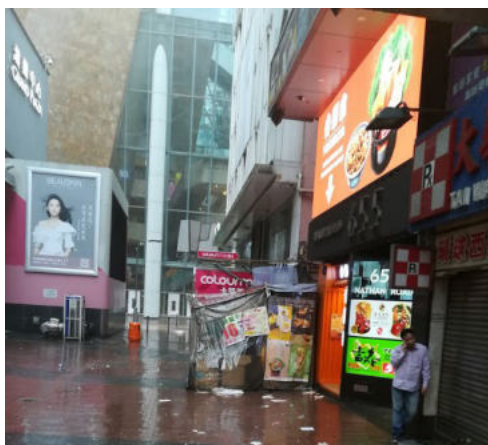
まあ2人とも初日落ちで、ちえけださんは PTQ を予約していたものの多分キャンセルと返金可、自分に至ってはドラフトくらいしかやる予定はなかったのではあるのですが。

籠城の準備と朝食

仕方ないので今日はもう宿に戻って引きこもりの構えです。ホームを乗り換えて戻りの MRT に乗ります。ここで同じく引き返す他の参加者の方と雑談。その方は GP 初日を通過していたようだったので「いやあさすがに公共機関である MRT でたどり着けないのでは GP は中止になるのではないのでしょうかね」「ゴールデンチケットが初日落ちの僕らにも発行されるかもしれませんね（笑）。とか話しつつ帰ります。

しかし間もなく判明しますが、GP 2 日目は中止になりませんでした。まあ会場近くのホテルを取って徒歩で行けたプレイヤーか、タクシーに割増料金を払ったプレイヤーを含めて何百人かは会場に着けたようですし、あるいは MRT が停まっていた事実を掌握していなかったのかもしれませんが、正直なところ「まともな手段で多数プレイヤーが会場にたどりつけなかった」のに GP 2 日目を開催したのは、公平性の観点からはやや疑問です。せめて初日通過したけど 2 日目不参加のプレイヤーにゴールデンチケットの発行くらいすべきじゃないかなと思いました僕らはともかく。

旺角駅まで戻って改札を出ると、目の前のパン屋とサークル K が普通に営業しておりましたので、これ幸いとパンとペットボトル飲料を多めに買い込んで地上へ。最悪で 2 日くらいは飢えない量を。部屋には冷蔵庫がないので日持ちするものは買えませんが、まあパンなら大丈夫でしょう。開けないのならペットボトルも大丈夫でしょうね。



旺角駅の彌敦道西側の出口から地上に出ると、割と風と雨が強くなっていて「うわー」な状態に。しかしそれでもどうやら目の前のオレンジの看板の「吉野家」は営業していたようでした。

まだ暑いとはいえ、身体が濡れて肌寒さも感じましたし次に温かいご飯が食べられるのはいつだろうとも思ったので、さっそく朝食はここで済ますことにしました。牛丼（並）と味噌汁のセットで HKD43.5。日本より割高ですが文句ありません。



籠城開始

のんびり朝食にしながらネットを見ると「PTQ の開始時刻を午前 10 時まで延期します」とのこと。そうかあ、結局は GP のみならず PTQ も開催するのか…。この台風はとうとう 9 時 40 分にシグナル 10 になったというのに。

ともあれ朝食を済ませて宿に戻り、途中セブンイレブンで追加の SIM カードと飲み物とカップ麺などを買い込んで 10 時過ぎに部屋に戻ります。24 時間は籠城できる構え。

ここで SIM カードを買っているのは、吉野家で一瞬だけネットのつながりが悪くなったのを「3GB 使い切ったか」と思ったのと（たぶん地下に入ったためですが）、どのみち多分 3GB はあと一週間のうちに使い切って次が必要だろう、と考えたためでした。結果的にはこの追加の SIM カードは不要で未開封のまま日本に持ち帰りましたが。

部屋に戻っても基本は、ネットでも観ながらだらだらするしかなかったのですが、明日の帰りの便の欠航が確定したもののまだ帰国便を決めていなかったちえけださんが、それを検索購入するべく自室でスマホを操作していたところ「香港エクスプレスのメールの添付ファイルが読めなかった」ということなので自分の部屋で自分のノート PC を貸すことにしました。ただし結果的には PC で拡張子を変えたりしてもこのメールの添付ファイルは読めなかったのですが（何なんだったんだろう…）。

この添付ファイルはとにかく帰りの便を決める必要はあったので引き続きちえけださんに PC を貸したままネット検索をさせるに任せます。

籠城中

ネットを検索しつつ「香港エクスプレスだと日本に帰れるのは木曜の**熊本行き**だろうか」と言ってるちえけださんでしたが、やがて自分の部屋で続けることにして退出。この部屋は、ノートPCを置ける場所があったけど椅子がないからベッドの細い所に尻を置くと尻が痛くて長時間は座れないんだよね。大変だなとちえけださんを見送るとそろそろ11時。ここで朝の薬を飲んでいなかったことに気がついて飲み、さらに半ば乾いていたものの濡れたシャツを着ていたため脱いで素っ裸になります。



会場に入れたプレイヤーからは普通に進行しているGPとPTQの情報が時おり流れてきますが、会場内の天井から**雨漏り**がして一時騒然としたらしい情報も（笑）。

自分は基本、ベッドに寝っ転がってスマホでソシャゲをしているだけの気楽なものですが、風は常にごうごうと鳴ってるし、ここは21階だからビルがゆさゆさ揺れなくもないし、電気はちらつくこともないでもなく（停電しなければいいな）、風がごうと鳴ると鼓膜が変な感じになるのはやはり低気圧のためだろうか、とか思ったり。

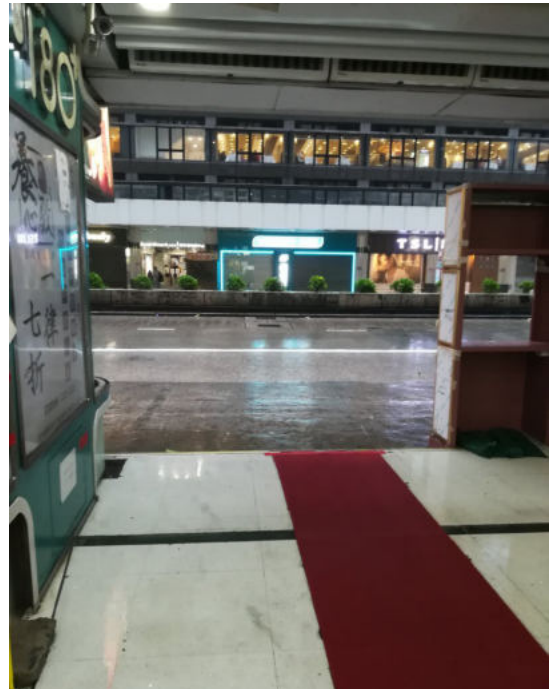
正午を回ったので、買い込んだ物資から「くるみパン」を出してかじり、ポカリスエット。

ちょっと外の様子を見てくる

14時半を回ると、外がずいぶん静かになりました。もうそろそろ香港の風雨はピークを超えて、あとはおさまる一方のようにも思えます。

その意味では現在まだ進行中のGPも、終了する数時間後や夜には普通に会場から市内に戻る状況になるのかもしれませんが。あるいは会場で夜明かしする羽目になるのでは？と思えたのですが、これはやはり開催を強行して正解だったのかもしれませんが。ハンス勝利。

それはそれとして自分はいささか**ヒマ**でもあったので、ひとつ外に出て様子を見てみることにしました。新しいTシャツを着てズボンを履き、靴下は履かずに靴を履いて部屋を出ます。廊下を出ると床が濡れています。雨漏りかな。下りのエレベーターに乗ったら、一回**途中で停まって**肝を冷やしますが、ほどなく再開をして無事に到着。大通りへの出入口も開いておりました。もはや横殴りの暴風雨が吹き込むこともないようです。



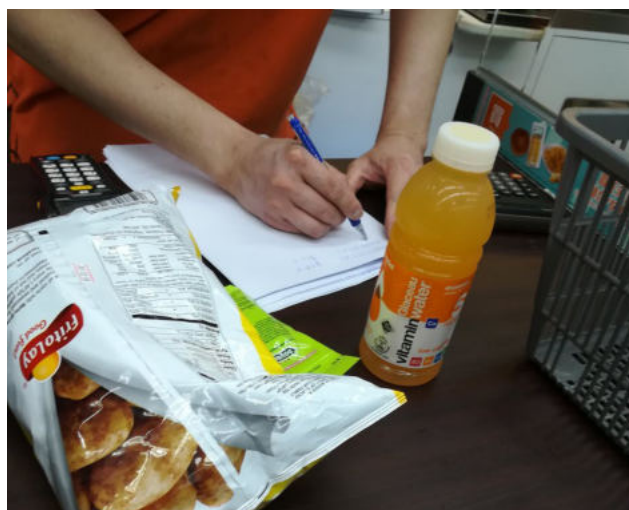
さらに反対側の出入口を出ると、どうやら遠目に見えるセブンイレブンの灯りがついているように見えます。傘を持って出なかったものの、大した雨ではないのでひとつ行ってみることにします。車通りはゼロなものの色々と注意しつつ小走りに道路を渡り、セブンイレブンに到着。

雨が吹き込まないように、わずかに開けたシャッターを空ケースで塞いでいたものの「これ、入っていいんだよね…？」ということで空ケースを少し動かして入店して、ケースを戻して撮影。



今日過ごすくらいの買い置きはあるのでそれほど切迫してはいなかったものの、せっかくなので買い物かごを手にして追加の飲料やポテチを入れると店員が「現金のみです」と言ってきました。無問題です。

そして会計。どうやらレシートが機能していないらしくて、店員が買った品物を紙に**手書きでメモ**をしながら合計の金額を電卓で計算してレジ業務を行っています。ただし価格データ照会部分は機能していたらしく店員が端末で品物をかざすと価格は正しく出ていたようでした（ゲータレード2本で割引などにも対応していました）。



手書きレシートは要求せずに買い物を済ませて小走りに戻ると15時を回ります。少しすると部屋にノックがあり、従業員がゴミ回収に来ました。宿は機能しています。

ちえけださんが帰りの航空券を購入

そういえば台風は今どのへんにいるのかなと思って調べたら、予定よりまた東にずれて、まさに今ちょうど香港を通過していて吹く。もしかして風雨が今たまたま小康状態だったのはいわゆる「台風の目」だったのかな…。それはそれとして、もう台風はあとは収まる一方なのかもしれません。

引き続き GP 本戦は続いており無事終わられそうですね。そして自分は今頃「そういえば金曜に獲得したプライズ 200 を変換し損ねてまるまる無駄にしてしまったな…」と思いだし少し悲しい気持ちに。



そして引き続きスマホで調べて水曜の**石垣島行き**しかないのかと書いているちえけださんに対し「大変な状況ではあるが、この宿は明日でチェックアウトだから帰国する日が決まったら宿も取るのを忘れずにね。自分はすでに土曜日までの尖沙咀の安宿は取った。ここは高いから延泊するのはオススメしない」とか伝える。

そしてどうやらちえけださんは、香港エクスプレスの水曜石垣島へのチケットを購入したようでした。まずは日本に渡ってから、あとは何とかすることなのでしょう。

ところがその直後の17時半頃に、結局は香港に来なかったアラジンさんと雑談して「自分が帰国便として検討していた中国東方航空の上海経由の便なら明日に日本に帰れるのでは」とかいう驚きの情報が得られました。

正直なところ本書の記述でも明らかなように、今回の台風パニックをもたらした少なくとも原因は、香港エクスプレスが12日（水）の時点で早々に「16日（日）と17日（月）は全便欠航」を決定したことにもあったとも思えるわけなのですが、いくら天気予報の精度が上がったとは言えやはり月曜の全便欠航の決定は早すぎたのでは…と思わないでもないのです。香港エクスプレスは安い直行便が多いから利用者多かったしね。

さっそくこの情報をちえけださんに伝え、ちえけださんはこちらの購入に踏み切ったようでした（まあ石垣島って何よという話でもあるしキャンセル返金も可能かな？）が、少ししてから「さっきの石垣島の決済をした関係からか**クレカが停止**された」と報告してきました。なんですと。

クレカの停止は日本で電話すれば解除されるだろうけど、さすがにここで帰りの航空券を買えないと詰むので、それではと自分のノートPCを再度ちえけださんに貸し、中国東方航空サイトの決済画面までたどりついたら自分とチェンジして自分のクレカ情報を入れて自分が立て替えて購入をすることにしました。もちろん後日に返して貰うお金ですから、こんなのは何でもありません。

中国東方航空のサイトでは航路検索画面の「発地」のプルダウンメニューには「香港」がないなどの軽いジャブ（手入力して解決できました）を食らったのち、明日の上海経由で羽田に着ける便にまだ空席があることを確認し、それではと決済画面に進もうとすると、搭乗者情報とクレカ情報を入れる画面がひとつの画面でありしかも氏名を入れる欄が1つ

しかないことに自分がクレカ情報を入力しようとして気がつきました。

コレってうっかりクレカの自分の氏名を入れてその名前で発券されたら、ちえけださんのパスポートの氏名とは一致しないから空港で**飛行機に乗れない**と気がついてストップ。何度画面を見返しても氏名の入力欄が1個しかないの、やむなくそれにちえけださんの氏名を入れ、自分のクレカの氏名はどこにも入力せずに「購入」を試みるしかありません。これってクレカ決済が通らないよね…？と思いつつ駄目もとで「購入」を押したら、そのまま**購入できてしまいました**。えっ？クレカって決済の時に氏名照合してないの？

もしかしてクレカ決済時の「カードに書いてある氏名」というのはサイトのほうでの照合材料オプションとして使用するだけでクレカ会社での決済では必須情報ではなく、甘いサイトだと「番号」だけ分かっていたら購入できてしまうものなののでしょうか…。まあカード裏面の3桁の番号も入れましたけど。

それはそれとして、半信半疑ではあるもののメールもちえけださんに届き、どうやら明日香港を発つ上海経由の便でちえけださんは延泊の必要もなく帰国できそうになりました。めでたしめでたし。とはいえチケットは113,170円。仕方ないけど高くつきました。お金はまた稼げばいいだけですが、この日に香港に居たことは多分一生の思い出。

GP 台風の終了

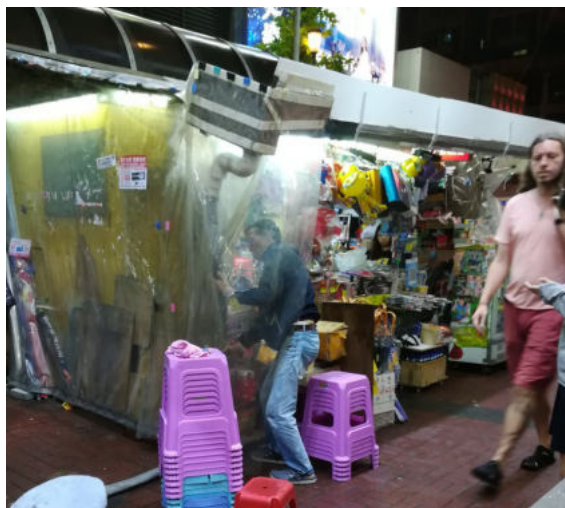
ちえけださん出国は明日の12:50であり、明日はもう台風は通過しているでしょうからMRTが普通に動けば空港まで1時間、余裕をもっても9時にチェックアウトして出れば十分でしょうというプランを立てたうえで、ちえけださんを部屋に返します。

そろそろ19時。では夕食にしようかと思ってコンビニで2つ買った「出前一丁」にするべくペットボトルの水を電気ポットに入れて湯を沸かす準備をしつつ開封すると、カップ容器の中にフォークが入っていません。なんてこった！これでは食べられません。

後で気が付きましたが見落としていて、コンビニ袋の中にフォークは入っていました。

もう開封してしまったし、仕方がないので外に出てコンビニでフォークを貰うか…と考えて、再度服を着て宿を出ました。今度は傘も持って出たものの、外に出てみると雨は降っておらず風もさほどではありません。

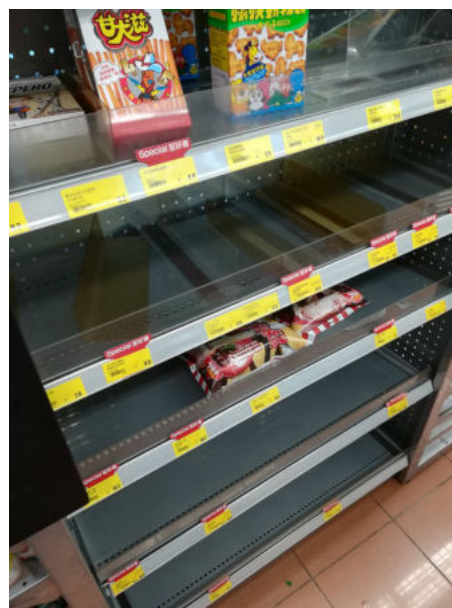
ていうかみんな普通に外を歩いているし、今朝まだ営業していたテント店も営業再開してます。



もちろん多くの店は閉めていますが、一部料理店やコンビニは営業を再開しています。

香港人強い。夕食時だけに、開いてる料理店は長蛇の列です。自分も並び温かい料理を食べようかなと一瞬思ったものの、部屋では開封済の出前一丁が自分を待って

いることを思い出したのでそのプランは採用せず。さすがにコンビニのスナックやカップ麺のコーナーはかなり底をついていましたが、こんな物は程なく復旧することでしょう。どうやら飢えることもなく今回の台風は終了の様様。



コンビニで無事にフォークも貰えたので、お礼がてらハーゲンダッツを買って、お湯を沸かして部屋で出前一丁を完食。

あとはだらだらして波乱の日曜が終了しました。

2018年9月17日（月） ちえけださん帰国の日

昨夜は日付が変わる前に寝てしまったし昼寝もしていたので、4時過ぎにもう目が覚めてしまいました。眠くもないのでだらだらツイッターをしたり DiaryNote に今週の予定を調べて書いたりソシャゲで遊んだり、トイレットペーパーが切れかかっていたので廊下の集積所に置いてある奴を1個部屋に持ち込んだりします。

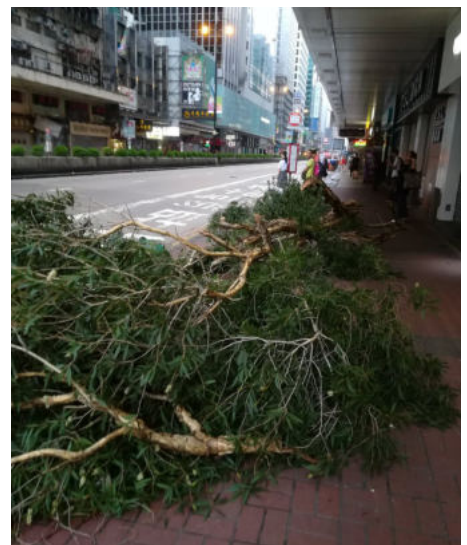
6時を回ると、どうやら隣の部屋のちえけださんも起きてツイッターをしていたようです。確実に空港に着くため昨夜はちえけださんに「早め早めで8時には宿を出て朝食は空港で取るのいいかな」とアドバイスした自分でしたが、もう起きているのなら7時に近くの飲茶店で朝食にしようという誘い快諾されます。自分も出前一丁よりはそのほうがいいです。昨年、金澤さんに連れられていった飲茶の店は良かったな、確かこの近くだったよね…と思いネットで調べると「倫敦大酒樓」（※1）がヒット。ここだここだ。

サイトには7時開店とあり、別に「台風の影響で開きません」というのも考えにくかったものの、念の為電話をかけて聞くとカタコト英語で「やってる」と返事が来たし何よりも後ろでガチャガチャと厨房の音がしています。大丈夫でしょうね。予約をするまでもなくお礼を言って電話を切ります。

※1 <http://www.londonrest.com.hk/>

倫敦大酒樓で飲茶

7時にちえけださんを誘って部屋を出ます。すでに「台風一過」な感のあった香港の朝でしたが、歩道の樹木が倒れていて歩道を塞いでいることもあったのは「台風の爪痕」という感じではありました。





彌敦道を横断して向かいの通りでほどなく店を発見して入店。ていうか後からよく調べたら、通りをはさんでほとんど今回の宿の正面でした。

あとは思い思いに紙に書いて注文し、来た物を2人で分けて食べてお茶を飲むのみ。

焼売、叉焼饅頭、小籠包、豚肉餃子の2種類、

大根餅、ピーマンの肉詰め。春巻。どれもこれもおいしい。幸せしかない。



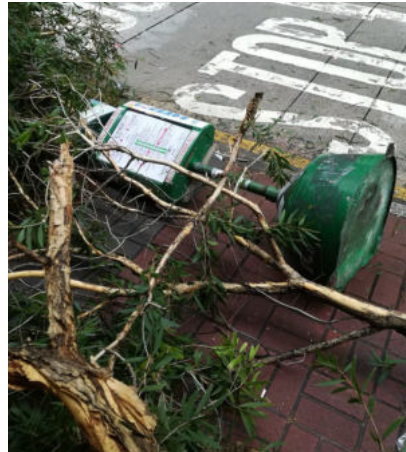
マジック者としてはラストは**Lotus** でしめねばと、蓮の実饅頭をデザートにして終了。お会計は2人で折半して HKD137。約2千円。もうぜんぜん OK。だいまんぞく。

ちえけださんを送る

ゆるゆると朝食を済ませて9時。あちこちで倒木が道路を塞いでいて交通渋滞が発生との情報もあるも、MRTは普通に動くでしょうからまだまだ12時50分には余裕でしょう。

あちこちを迂回しつつ宿へ戻り、9時15分に部屋を出るちえけださんから、カードキーを受け取ります。

さらに昨日ちえけださんが多めに買い込んだパンと、未開封のボトル茶の残りを



貰います。あと5日間香港に滞在する自分は余裕で消化できることでしょう。

あとは宿を出て空港に向かうちえけださんをドアの前で見送って終了。

支度をしてチェックアウト

ちえけださんから貰った烏龍茶を開けて朝の薬を飲みます。

…ってこれ、てっきりサントリーの烏龍茶かと思ってよく見たらどこにも「サントリー」の文字がありません。どうやら「津路」という中国メーカーの**ぱちもん**のようです。味は区別つかず。今日チェックアウトの自分も荷造りを始めますが、基本は尖沙咀への別の宿への移動だけなので荷物を適当に詰めるだけでOK。最悪で2日間の籠城を覚悟したため大量に購入しておいたパンや飲み物を旅行鞆に詰め込みます。あと5日あるので、おそらくは普通に全部捨てずにスタッフが美味しくいただくことでしょう。





日曜に会場に着けなかったので使いそこねたアイテム。サイドイベントのHKD30 割引券（ドラフトで使える予定でした）3枚と、200 プライズ（プレイマットの4枚にでも替える予定でした）。

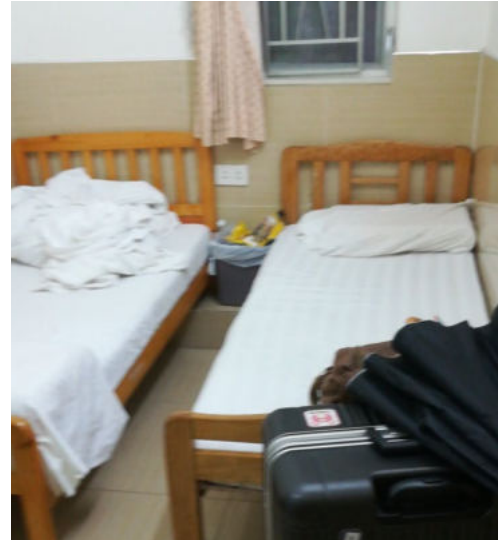
ざっと5〜7千円くらいの損かなあ。しょぼん。

11時には荷造りも終わり、部屋の中に何か忘れ物もないかどうかを確認して退出します。

宿代はやや高めかなと感じましたが、それ以外の点ではまあそれほど不満は出ない宿でした。ネットの某ホテルサイトで評価を確認したら「星1つ」ではありましたが（笑）。

1416号室に行き、係員にカードキー2枚を返却しデポジットHKD200を受け取って終了。

ではまずは今夜の宿を確認すべく尖沙咀に移動です。



吉野家の月餅



エレベーターで1階に降り旅行鞆を押しながら旺角駅へ。すでに香港の街は「通常営業」と言って良い状態だとは思いますが、それでもあちこち「工事中」の通行止めがあり、いろいろ修理しています。

旺角駅に入る前に昨日入った吉野家に立ち寄り、レジで

吉野家の月餅を購入します。8個入りでHKD128。

現在は「中秋の名月」のシーズンであり、香港ではこの季節に「月餅」を贈り合う習慣があるため、いろいろな企業がオリジナルの月餅セットを作って販売するということをやっていたのでした。

実のところ、今回の GP 旅行は明らかに **GP 台風**になってしまったのですが、こんなことがなければ当初の予定では色々なメーカーの月餅を買い集めるという **GP 月餅**にするという企画もあったのでした。もっとも日本でも知名度の高いメーカーが面白いな月餅を出しているものはそれほどなく、また香港での月餅は「ここぞという相手に贈る物」という位置づけのようで値段も 2~5 千円くらいするのが普通なので、ネタで買い集めるにはちょっと**高い**ことが判明したので、吉野家以外は見送ったのですが。

今夜からの宿を確認

旺角駅に降りて、オクトパスに HKD100 をチャージしてから MRT 荃湾線に乗り、南に 3 駅。何事もなく尖沙咀に到着します。重慶大廈の位置はすでに把握をしている自分ですが、旅行鞆が重いので地上へと出るエレベーターを探して構内をだいたい東に歩いてから、地上に出ました。まずは彌敦道に戻るべく西へ。
(しばらく道を間違えて反対側に歩きましたが)



12 時 20 分には彌敦道に出ました。

彌敦道でも交差点のでかい木が倒れていて歩道をいささか塞いでいますが、構わずに見知った道を今夜からの宿である重慶大廈を目指して進みます。多くの観光客もぞろぞろ歩いており、もはや昨日までの台風の影響を思い出させるものはほとんどありません。

「3年ぶりだね」

「…来たよ」

脳内でいつものアルペジオごっこをやって重慶大廈に入ります。「厦」の字が落ちているのはやはり台風の影響なのか、それとも元からなのか（笑）。

4つの座（ブロック）に分かれる重慶大廈でしたが、今夜の自分の宿は入り口から近い「A座」でした。もっとも例によってチェックインをしたら別の場所に案内されるかもしれないのですが。



A座の奇数階エレベーターに乗ってすぐの3階で降りるとほどなく目的の宿のフロントを発見。重慶大廈と思えない順調な滑り出し。

予約が入っていることを確認しキーカード代のデポジットHKD100を支払う。ただしやはりチェックインが可能になるのは14時からとのこと。問題ない。

他の旅行鞆と同様に、フロント前の廊下に自分の旅行鞆を置いてフロントを後にします。1時間半後に戻ろう。

マカオレストランで昼食

今日の昼食は、やはり尖沙咀ではお気に入りの、いつものマカオレストラン（澳門茶餐廳）に行くことにしました。

彌敦道を西に横断して、ほどなく発見。さっそく入店して着席してから、Cセット（ポークリブ）をライスで、ライチソーダと一緒に注文。



セット HKD54+ドリンク HKD9 に、たぶんサービス料がついて HKD70 かな。

そして到着。いただきまーす！

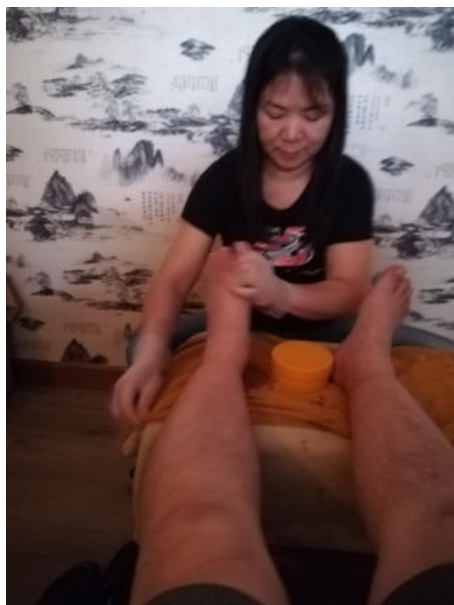
厚手の骨付きポークリブ 4 枚の香草ソースがけドリンクセットで千円超えなら、割とお値ごろ感がありますね。もぐもぐ。

ソースの味が今ひとつ好みではありませんが肉は美味しいのですもぐもぐ。



ドリンクがなかなか来ないねと思って催促したら「ライチ品切れ」とのことです。マンゴーに変更。少ししてそのドリンクも来たので、あるいは 14 時までここで粘るのもありかなと思いつつごくごく飲み干します。

足マッサージ



13 時半過ぎに食事を終え店を出ます。ぶらぶら歩いているうちに 14 時になるでしょう。ということであてもなく尖沙咀を歩いていると足マッサージの呼び込みが声をかけてきます。値段を聞くと「30 分 HKD99」。ちょうどいい時間潰しかなと思い、応じました。

今度のマッサージは特に風俗臭もなく、おばちゃんがオイルをすり込みながら足とふくらはぎと揉みます。特にボッタくられるでもなく、HKD99 を払って終了。

基本的には快感の 30 分間ではありましたが、それほど

力強くこちらの凝った所をゴリゴリ責めてくるでもなく単なる「足揉み」で終了したのでいささか物足りない感もあったのは否めません。

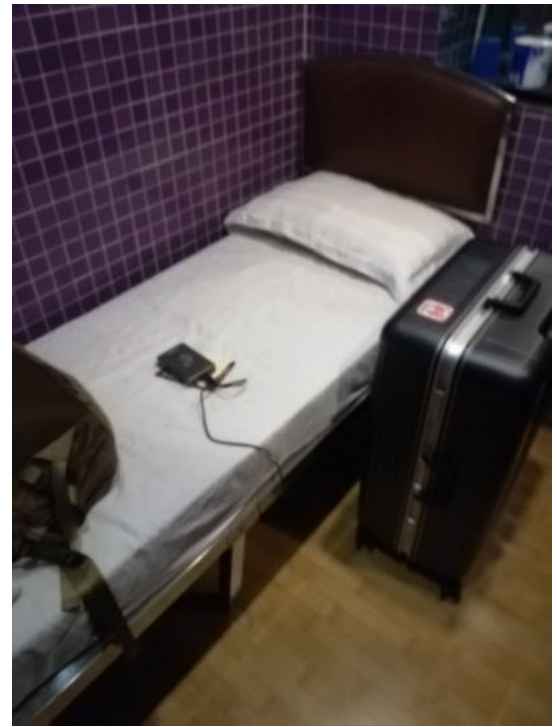
チェックイン

マッサージを受け終わると、14 時を過ぎていたので重慶大廈に戻りフロントへ。自分の旅行鞆を回収しつつ前の団体のフロント対応が終わるのを待ちつつも（割と待たされた）自分の番になったので部屋への案内を依頼。

さて一体何階に案内されるのだろうか、と思ったものの意外にも同じフロア内の部屋でした。

ドアが短い間隔でならば狭い廊下を奥に進みつつ

ビデオ BOX を思い出し、やがてその中の奥の部屋に到着しました。スタッフは、カードキーを渡して去ります。



部屋を検分。ベッドが置いてあるだけの2畳もなさそうな部屋で、奥にシャワーとトイレ。もちろん冷蔵庫などありません。エアコンの効きは悪くなく、Wifiにもつながりました。ネットの動画を再生して、Wifiの品質も特に問題はないことを確認。

部屋はフロントと同じ3階で、正直なところこれには喜んだもののほどなく外の**工事の音がうるさい**ことに気がつきました。とはいえまあ、夜間工事でもなければ無問題。

壁に貼ってあった注意書きを熟読。シャワーのお湯は**環境に配慮**して9:00~12:00の間と21:00~25:00の間しか出ないらしい。環境に配慮したんじゃ仕方ないね（笑）。

フロントに言えば1日1枚バスタオルを無料でくれる。歯磨き歯ブラシは有料。

部屋のTVをつけるとケーブルTVが配信されているようでしたが何も映りませんでした。今日のぶんのバスタオルを取りにフロントに行き、ついでに「TV映らないんだけど」とクレームをしたら「**台風でアンテナがやられて**今日は映らない」と言われる。そういうオチか！じゃあ仕方ないなあ（笑）。滞在中に直るのかなあ。

よし、だいたい分かった。荷物を置いて寝ることはできそうだ。しょせんは一泊二千元。まだ16時。それでは今日は特に予定もないし、この辺をぶらぶらして今後5日間の宿泊準備を整えてから夕食にすることにしよう。荷物を置いて部屋を出ます。

重慶大廈の探検

足の向くままにフロアを歩いて外に出てみると、重慶大廈の中央の「吹き抜け」部分に出ました。重慶大廈ビル自体の「管理人室」もあり飲み物の自販機もあり割とコア情報にアクセスできている感じ（笑）。

滞在中に少なくとも一度は下着と靴下を洗濯の必要があると思われたので、フロントにコインランドリーの場所を聞いたら「下」と言われたのでエレベーターを



使わずに非常階段を降りました。

そして何気に下のフロアのドアを開けたら、目の前にピカピカのショッピングモールが登場。

えっ？重慶大廈の中にはこんなお洒落なエリアもあったのか！ 僕らの**こ汚い**エリアと薄いドア1枚を隔ててこの空間がある異世界感たるや。一応モールをひと回りしますが、主に若い女性をターゲットにした服屋や何十軒もネイルサロンの店があります。マジ異世界ですが、こんなに一杯ネイルの店ばかりで食っていけるのかなあ。

そしてどうやらコインランドリーは見当たらないので、奥の店員に聞くと「下」と言ってきました。結局さらにフロアを今度はエスカレーターで降りて地上階へ。重慶大廈のきれいな出口を出て別の汚い入り口から入り、汚いほうの重慶大廈1階を散策してコインランドリーをとうとう発見できました。ミッションクリア。



重慶大廈の付近を散策

コインランドリーは後で夕食がてらに利用することにして（そもそも今は洗濯物を持っていない）、まだ 16 時なので外を一回りして必要なものを買い出し。



薬局に入ってソープ HKD12 と、爪切り HKD20 を購入。

別の薬局に入ったら美人店員がカウンターの中でバナナをもぐもぐしているこのご褒美感。香港には若い女性が容姿を気にしてメガネを避けてコンタクトレンズにするという蜚習がなく、というか眼鏡美人というコンセプトが社会的に成立している眼鏡天国なのです。まともに読めないもののコンビニで新聞を HKD8 で買う。「東方日報」といっても別に例大祭の情報は載っていません。

洗濯にチャレンジ

冷たいものを飲みすぎたのか、少し便意を感じたので 17 時に部屋に戻る。用便後にふとトイレの鏡を見たら取っ手がついていたので「備品棚かな」と思って解錠したうえで開けたら**外**だったので盛大に吹きました。誰も通っていなかったものの閉めて施錠。部屋の中の鏡にも同様の取っ手があり、しかも鏡には「開けるな」と書いてあったのはこういうことだったのか…火災の時に脱出できずに部屋に閉じ込められて焼死するのは避けられそうだ。



洗濯物（すでに使用した下着と靴下とタオル）を手提げに入れて持って部屋を出ますが、まだ明るいのでもうひと回りすることにし、近所の地下にあるスーパーなど確認。その後いよいよコインランドリーにチャレンジすることに。

壁の説明を熟読。両替機で財布のHKD50札をHKD5コインに両替したうえで、洗濯機のドラムに洗濯物を全部放り込み、コイン4枚を投入（HKD20）してからSTARTボタンを押す。

あとは待つだけ。同様にして乾燥機もHKD30で利用できそうなのですが、今回は部屋で干すことにして、乾燥機はスルーしました（伏線）。



重慶大廈の料理店



洗濯待ちの間に夕食にすることにし、隣のカレー屋へ入り、チキンブリタニー HKD50 を注文。

ほどなく到着。ふむ…まあ悪くない。容赦のない辛ウマ。ヒーハーする口を時折玉子焼きで冷やす。まあうまいのだが、しかしながらこれでHKD50というのは、

この**汚い重慶大廈**の中の安普請の料理店としてはそれほど割安でもないよなあという気持ちで一杯に。あるいは、そろそろ頭が観光客モードから抜けつつあるのかもしれませんが。去年住んでいたミャンマーならせいぜい400円だよなあと思いつつ完食。



部屋に戻りシャワー

夕食を終えて洗濯物を回収すると、そろそろ 19 時。再び重慶大廈をぶらぶらして、まだ暑いのでアイスを買っていた店で買ってかじる…もののコレは失敗。明らかに一回溶けてまた冷えたものでした。ミャンマーのコンビニアスを思い出しました。

重慶大廈では飲料を売っている店はたくさんあるもののあまりアスを売っている店がなかったので「ははあ」と思ったのですが、おそらく重慶大廈では、それなりの頻度で停電が起きているのではないかと推定されます。たまたま台風でかもしれませんが。

さらに裏通りの露店で、例によってビニールで封印した工口本を売っていたので一冊購入。もちろん中身は無修正です。雨もぱらついてきたので今日はもうおしまいになります。部屋に戻ると 20 時。そこそこ汗もかいていたので服を脱いでシャワー…と思って「湯が出るのは 21 時以降」を思いだしたものの、暑いので軽く水シャワーで汗を流します。身体を拭いて服を着ずに、ノート PC を起動してネットなどをだらだら始めます。

ふと気がつくと PC の時計が「21:30」だったので、いそいそとシャワー室に入りお湯を出します…が、いつまでたってもシャワーは熱くならず、どう見ても水のままです。ここに至って「なぜ俺は、重慶大廈の安宿が約束を守ってお湯を出すなどという幻想を持ってしまったのだろう」という失意のもと、今度はソープも使って水で身体を洗います。

水シャワーを済ませ身体を拭いてベッドに横になってスマホの時計を見ると「21:00」。あれ？と思ってから事実気が付きます。香港は日本と 1 時間の時差がありますが PC のほうは時計を香港時間に直していなかったのです。つまりさっきはまだ 21 時前。

それでは…とシャワー室に戻って蛇口をひねると、果たして熱い湯が出ました。**信じてやらなくてゴメン**重慶大廈。ともあれ熱い湯で再度ソープを使って身体を洗って、さっぱりしました。

シャワーを終えて、だらだらネットをしつつ洗濯物を部屋干しするうちに眠くなってきたので 22 時過ぎには就寝。

2018年9月18日（火） 香港島を観光の日

目が醒めたのは8時前。さすがにぐっすりすっきりしました。

本日の予定は「すでに香港に何度も来た割にはまだ1回も香港島には行ってない」ということで、ゆるく香港島の観光地を歩いてみようと思いました。

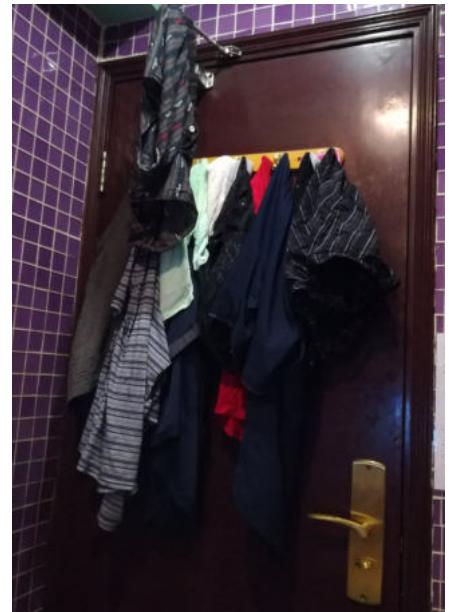
割と台風でシャレにならない被害も出たらしい香港ディズニーランドも覗いてみようかな…とも思ったものの、地図で調べたら香港ディズニーランドは香港島ではなく空港の方にあることに今更気がつきました。ついでに香港ディズニーランドのパスポートが1万円もすることを知ったので、ネタで入るには厳しいなということで見送り。

ではやはり香港島だねということで香港島の観光スポットをざっくりチェック。

ネットをしながら朝食として買ってあったパンの残りをもぐもぐ。

昨夜干していた洗濯物が湿ったままで、ぜんぜん乾いていません。ミャンマーのために買った速乾シャツすらも湿っているし、シャワー上がりに濡らしていた床もまだ濡れたまま。どうも**湿度 100%**のようです。

このまま干しておいても今夜着られるかどうか怪しく、その後、ネットに上げた右の写真を見た妻から「こんな干し方じゃあかんよ」と指導も入ったので、HKD30をケチらずに乾燥機を使うことにしました。



乾燥機と散歩と朝食

9時になったので、まだ着ていない下着と靴下を装着して服を着たうえ生乾きの洗濯物を手提げに入れて部屋を出て、1階のコインランドリーの乾燥機に放り込んで HKD30 投入。あとは乾くまで朝の散歩をします。裏通りを歩き「かつや」を発見したりマクドナルドを

覗くうちに、ちょっとマクドのハッシュポテトが食べたくなかったので入店。あれ…さっき部屋でパンをかじって「朝食」にしたのでは、と自問しながらも「デラックスブレックファースト」のセットを HKD32 で注文。デラックスブレックファーストは一見すると豪華だが「ホットケーキ」と書いてあるのはただのバンズだし、ハンバーガーは同じで、スクランブルエッグは結局は玉子だから材料としては月見バーガーと同じだよなこれ…。



とはいえおいしく頂いて、朝のコーヒーで薬を飲んでから 10 時に戻ります。洗濯物を乾燥機から回収。ほかほかのふわふわ。やはり必要だったな、これは。

部屋の整頓

部屋に戻ったらエアコンの冷房が入らなくて焦る。フロントに相談したらおばちゃんから「ファンの電源を切ってからエアコンの電源を入れる」というテクを伝授される。TV をつけてみる。大半の局は視聴可能になっていたが一部の局は画像が乱れる。修理は行っているようだがまだ完全ではないようだ。

さらに部屋の整頓。この宿のルールとして「ベッドメイクを依頼するには、ベッドの上に何も置かないこと」というものがあつたので、洗濯物をたたみつつも、もう不要な荷物はできるだけちゃんと鞆に詰めてしまうことにしたのでした。

整頓を終えると 11 時半。では午後の観光の下調べをしてから出かけることにしよう。オーシャンパークの入場料は HK438 か…ひやかして覗きに行くのには高いかなあ。一番人気のビクトリアピークから夜景を眺めるのをフィニッシュにして、シャワーが使える 21 時半過ぎに戻るといふプランがいいのかな。ともあれ出発しよう。

ビクトリア・パーク

正午に部屋を出て外へ。お、香港初の青空。やっぱり外に出て良かったなー。

尖沙咀駅で MRT に乗り、南下。金鐘駅で港島線に乗り換え銅鑼湾駅で下車。地図を見てほどなくビクトリアパークに到着…したのですが台風で**閉鎖中**でした。仕方ないのでパークを見下ろせる近くのモールに入り、上の階に登るとココイチがあったので入店。



思惑通りにココイチの店内からはパークの全景がよく見えました。入園できなかったけど。

まだ空腹にはほど遠い状態だったので、ココイチ昼食は取らずに、りんごジュース HKD24 のみを注文して、涼んでから店を出ます。

文武廟

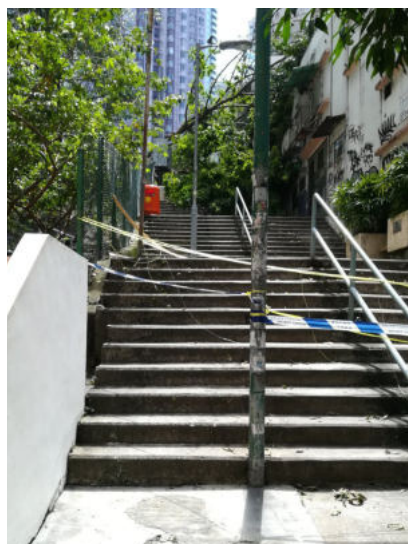
13 時にココイチを出て MRT 銅鑼湾駅に入り、港島線を西に戻り上環駅で下車。A2 出口から地上に出て「文武廟」を目指すことにしました。GoogleMap で目的地を特定できたので、あとはそれを目指して徒歩移動するだけで、どうやら 400m ほど徒歩で移動する必要があるようでした。ま、問題ないでしょう。

しかし標識に従って移動を開始するとほどなく気がつきましたが、どうやら目的地までは「上り坂」を登る必要があるようでした。これは通常マップでは出てきません。

そしてふうふう言いつつ上り坂を登っていくと、まさかの文武廟への**階段が封鎖**されていました。啞然としつつ「乗り越えちゃおうかなあ」と思ったものの、思い直して別の道を探して迂回して上ります。



さらに 20 分ほども徒歩で上ってから、やっと目的地である文武廟に到着。



すいていた文昌帝をお参りしてから、隣の関羽様のコーナーへと。さすがに、こちらはだいぶ参拝者が多かったですね。

関羽様の前で写真を撮ったり、他の参拝客に自分を撮ってもらったりした後に、線香売り場へ。

ここは拝観料を取らないので無料で参拝が行えたものの、さすがに申し訳がなかったので木戸銭がわりに線香を買い他の観光客と同様に焼香を行うことにしたのでした。

HKD15 を係員の前の賽銭箱に入れ（おつりは出ません）線香を受け取って火をつけ（火つき悪いです）、煙が出てきたのでそれをしばらく振りながら歩いた後で灰に差して立たせて終了。



書き忘れましたが、ここでは観光客がみんなこれをやるので、関羽様の参拝部屋全体がものすごく煙たいのでした（笑）。文昌帝の部屋はだいぶおとなしいのですが。

14 時過ぎに、参拝を終えて廟を出ます。坂を降りながら途中のセブンイレブンで冷たい飲み物を買って涼みつつ、次にどこに行こうかを考えることにしました。

担々麺

そろそろ腹が減ってきたなと思いつつ坂を降りていると、小さな四川料理店が目に入ったので昼飯はここで取ることにしました。

担々麺とレモンジュース。辛さの基準があまり分からないものの2辛（ミディアム）を注文。…ふむ。期待通りの辛ウマ。そして舌が痺れる四川風のマーの味。

そしてパクチー。パクチーは香草臭くてあまり好きではなかったのですが、四川の強い辛さには割と良く合うな、と思いました。



客は自分1人だけでしたがおばちゃんが窓ガラスに十字に貼ったテープをばりばりと剥がし始めます。窓ガラスの強化というよりは飛散防止用でしょうか。ともあれどうやら今回の「台風」も終了のようです。HKD62を支払って店を出て終了。

ソーホーに登る

昼食時に調べたところでは、あてもなく歩いた現在地は上環と中環の間くらい。地図を見ると観光地の「ソーホー」がそれほど遠くないので、ひとつソーホーに行ってみようかなあと思い至り、四川料理店を出るとソーホー区に向かいました。

しかしほどなく判明しましたが、またしても**やはりの上り坂**でした。上等だぜと思いながらふうふう言って階段混じりの坂を登り、やがて平坦なエリアに出ました。

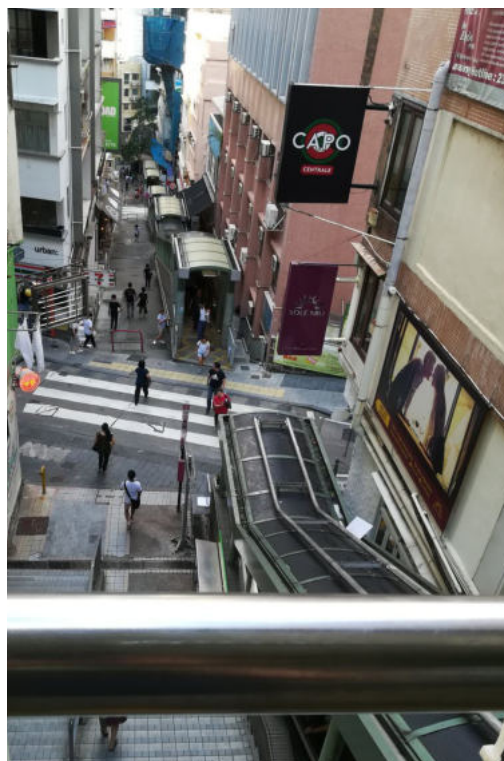
ここかな？と思ったものの、どうやらこの辺はソーホー東側の裁判所と美術館のようです。涼みがてらに少し入って売店など冷やかすも、ほどなく退出（写真省略）。

そしてやがて目的地のソーホー区にたどりついたのですが、ここで見下ろして気がついたのが、延々と続いている「上り」エスカレーター群の存在でした。

どうやらこれは「中環至半山自動扶梯（ヒルサイドエスカレーター）」と呼ばれる観光名物で、全長800mに及ぶ上りエスカレーター群である模様。

つまりどうもソーホーに観光に来るには中環駅からこのエスカレーターをキャッキャウフフと乗り継ぎ乗り継ぎして来るものであり、わざわざ自分の足で**歩いて登る馬鹿**はいないということらしいです。

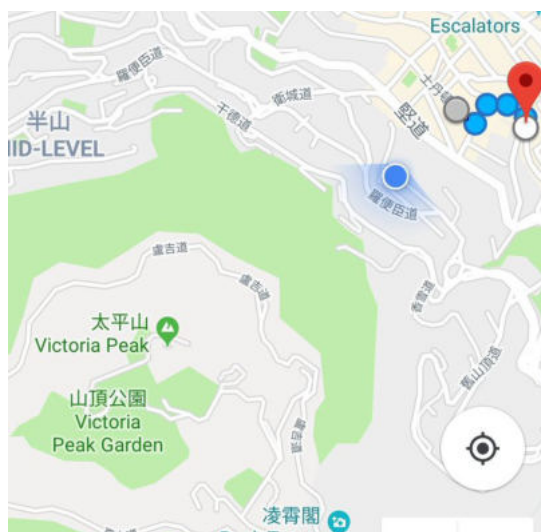
無計画無調査の観光プランとはいえ、流石に脱力。



さらに頂上を目指す

そしてこの上りエスカレーターはソーホーが終点ではありません。見上げるとさらに上へとエスカレーターは延々と伸びています。地図を見つつ「あれ？これってもしかしたら本日の最終目的地であるビクトリア・ピークまで、このまま続いているんじゃあ…」と思えました。

時計を見ると16時。特にもう他に行きたい所もないし、これはこのまま山頂まで登って、そこで日が暮れるまで時間を潰して（モールなどもある



らしいし）名物の夜景を見て観光終了で良いのではないか、と思えました。
このため、さらに上へのエスカレーターに乗り、頂上を目指すことにしました。

と思ったらその先のエスカレーターが**故障**。
仕方ないのでそのような部分は階段で上り、
さらにその先のエスカレーターに乗り頂上を
目指します。



ところがほどなく上りエスカレーターは
終了。コレに乗っていれば頂上へ行ける
というものではなかったのですね…。
そしてその先に「頂上へはトラムで上れ。
トラム駅までは徒歩で**25分**」という
看板がありました。
じょ、上等だぜ…と思いつつその先へ。

ビクトリア・ピークへのトラム駅へ

トラム駅を目指して看板に従って道路を歩くも、他に歩いている人間などおらず「どうもおかしいな…」と思っていたのですが、そもそも道路が**下り坂**になり看板もなく分かれ道になるに至り「これはあかん」という結論に。どっかで間違えたかなー。
その先に大きめのバス停留所ビルがあったのでこれ幸い「ビクトリアピークへのトラム駅にはどう行くのですか」と係員に聞くと「このバス停で23番バスに乗ってカテドラル・ガーデン駅で降りればいいよ」という明晰な回答。やった！これで勝つる！

そして間もなく来たバスに HKD6.9 を支払って乗車。どんどん市街地へと戻っていくのが気になりましたが、もう仕方ありません。

16 時半過ぎにカテドラル・ガーデン駅でバスを降りトラム駅を探します。ここはもはや中環駅からもそれから遠くない場所でもあり、つまりビクトリア・ピークを目指す定番のルートはあのエスカレーターや自力徒歩ではなく、最初からこのトラム駅を目指すべきであったということなのでしょう（また調査不足をやらしました）。

ともあれ、あとはそこで頂上へのトラム料金を支払って乗れば、本日の最終目的地であるビクトリア・ピークへは辿り着けそうです。

トラムのチケットを買うには…

そしてほどなく目的のトラム駅を発見します。ただし駅の構内へは長蛇の列。

なるほどビクトリア・ピークの夜景は香港で大きな観光名所でもあり、これから夜になるわけだからこれも当然か…と今更ながら気がつきました。

では仕方ない、ここまで来たら自分も並んでトラムのチケットを買い乗ろうと思いました。値段は HKD100 くらいなのでしょうか。



…ところが係員から渡されたパンフレットを何度隅から隅まで見返しても、このトラムの乗車チケットの値段が書いてありません。何度も係員に確認したりするも、どうやらこのトラムの乗車券は単体では販売しておらず、トラムに乗るにはいくつもある市内観光の「ツアー」のパック（どこぞの入場券込みとか市内 1 日乗り放題とか）を購入しなければならないようでした。そしてどうやらツアーの最低料金のもので **HK480** はします。そりゃまあ観光名所にタダで入ろうとした自分はいささか虫が良すぎたかもしれません。ただ登って夜景を見るだけでその値段は払えません。さよならビクトリア・ピーク。

尖沙咀へ戻り、足マッサージ

結局のところ、午後はほとんど**山登り**をただけのいささか残念な結果で香港島を去ることになりました。

そのまま歩いて MRT 中環駅まで戻り、MRT で尖沙咀まで戻ります。わずか2駅。結局のところこの距離からも「香港島」は島自体を歩きに来るというよりはむしろビクトリア・ピークなりオーシャンパークなりの特定の「観光地」を目指してそれなりの予算を組んで出かけるべきスポットだったのかもしれませんがね。坂多いし（笑）。

それはそれとしていったん部屋に戻って涼むと17時半。夕食はどうしようかな…。

あとやっぱり今夜も足マッサージだよなあ、と思ってから今日の失敗の多くは「何も事前調査をまともにせずに現地に行った」ことに起因すると気がついたので部屋で尖沙咀のマッサージ屋を検索すると、ほどなく次のサイトがヒットしました。

<https://live-resiliently.com/overseas/hongkong-foot-massage-best3/>

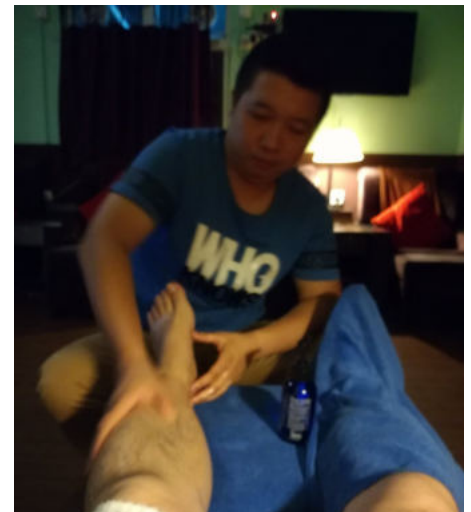
ここの第1位の「足藝舎（Rendezvous）」の「安くて質も良い」という記述を読み「ここに行かない理由はないよなあ」と思ったので、さっそく外出。

マカオレストランの少し先の十分な近さ。

入店してメニューを見ると「足のみ40分」HKD159。

まあ十分に高くない値段。問題は質ですが。

そしてエ口の臭いもなくそもそも、足湯を浸けた後でおっさんによる施術開始（もとより女性客を見込んでいえる店でもあります）。



そしておっさんは、こちらの期待通り「ただ足を押しているだけ」ではなく「親指を細く立ててこちらの足ツボをぎゅっぎゅっと強く攻めてきました。疲労物質が音を立てて粉碎されていくような快感。コレですよコレ。おっさんの攻めに**しばし悶絶**。

至福の40分の後、おっさんがこちらの足の数カ所をちょんちょんと突っついて「ここの角質除去（20分 HKD180）をやろう」と割としつこく勧めてきたのはノーサンキューでしたが総じて満足。やはり評判の良い店だけのことはある。あと1～2回は来よう。

中華料理店で夕食

マッサージを終えると 19 時半。夕食にしましょう。まだ入ってはいなかった近くの中華料理店に入ります。奥の席に座ってもメニューを持ってこないな…と思っていたら「まず入り口のレジで注文をする」システムでした。

牛肉炒飯セット HKD48（+サービス料）をオーダーし、しばらくしてから到着。思わず「でかっ」と声が出そうな分量。味はまあ普通ですが、基本的に「普段めし」として満足できる内容。あと 3 日のうちに、もう 1 回くらい来る機会はあるかな。



スーパーで買い物

あとは買い物をして部屋に帰れば今夜も終了。以前に発見していた地下の「スーパー」に入ります。目的は愛用の「黒人歯磨き」だったのですが、このスーパーでは扱っておらずやむなく歯ブラシのみ購入。あとはアクエリアスソーダやミニッツメイドが「2本買うと1本無料」だったので喜んでそれぞれ3本ずつ購入。多分あと4日のうちに飲むでしょう。部屋にまだ未開封の水や烏龍茶もありますが、無理に飲む必要もないので非常用として。さらにスーパーを出た所の薬局で黒人歯磨き。一番小さいの1本でも良かったのですが「大きい2本とおまけの小さい1本セット」しかなかったのを購入。ま、日本でも毎日使用しているブランドなので持ち帰っても無問題。HKD38。

部屋に戻ると 20 時半。21 時まで待ってちゃんとお湯が出るのを確認してからシャワーを浴びてさっぱりし、だらだらネットなどしつつ日付が変わる頃に就寝。

2018年9月19日（水） マカオ観光の日

6時半、起床。

やはりこの部屋は湿度 100%のようで、ドアにかけておいた衣類の水分がまったく抜けていません。正直もう滞在中の下着タオル靴下は全部洗濯済の分量がありますし、女人街で買った袖を通していないTシャツもあるので無問題。

今後は脱いだタオルと下着靴下は、もう再利用は考えずに鞆に詰めてしまいましょう。

今日はマカオに遊びに行く日なので7時には服を着て出ます。もうマカオ行き的高速船は動いている時間です。

そういえばマカオで使える SIM を確保せねば、と思い出したので重慶大廈の1階の店で SIM を買って装着していこうと思ったら営業しておりません。店のおっさんに聞いたら「8時半まで待て」とのこと。んー…のんびり朝食にするか。

マカオレストランに行きモーニングセット。
HKD38(+10%)。揚げ物は魚肉なんですがこの内容でこの値段は本当にコスパ高いな！
そして魚肉（白身魚のフライ）も含め自分の舌にはとても良く合う洋風軽食。やはりこの店はいい。

アイスコーヒーを飲んで時間を潰す。



マカオへのフェリー窓口

8時半に重慶大廈のさっきの店に戻るも、店の親父が他の客と延々話していて、こちらをちらと見たものの接客する気がなさそう。もういいやと思って去る。別にここでなければマカオ対応の SIM が買えないわけでもないだろう…っていうか冷静に考えればこれから行くマカオのフェリー乗り場の近くにぜったいマカオ SIM 売り場があるよな（笑）。尖沙咀からは徒歩圏ではあるものの、割と歩いて「チャイナ・フェリーターミナル」へ。

ビルの2階のフェリー乗り場へのゲート前で、次に出る便を物色。10時15分発のターボジェットのフェリーかな。ではカウンターでチケットを買おう。

ターボジェットのゲートの前に立っている係員らしき男が「往復で HKD371」と言ってきたので少し疑いながらも代金を支払って往復のチケットを購入。チケットに記載されている値段を見たら合っていた。よしボラれていない。

前回マカオに行った際には、フェリーへのチケット売り場の窓口の手前に堂々と立っている男が実はただのダフ屋で、目の前の窓口で普通で買えたのにそいつからムダに割増料金でチケットを買ってしまったことがあったのでした（GP 香港 2015 参加記参照）。

チケット購入後、係員に「マカオで使える SIM は売ってないかな？」と聞いたら日数を聞かれたので「1日」と答えると「HKD60」と言われたのでうなずくと、係員はそばの若い男に声をかけ、その男はひとつ走りしてから SIM を持参してきたので受け取ります。を、いいじゃん。ますます重慶大廈を利用するメリットが減ったな…。

時間もあったのでゲートの係員からピンを借りてスマホのデュアル SIM スロットを開け、日本の SIM を抜いて財布に入れ（なくさないよう注意）、香港 SIM は残したままでそのマカオの SIM を入れる。両方ともスマホでの認識成功。よし。

あとはマカオについたらこの SIM をオンにしよう。

マカオへのフェリーに乗車

9時15分にターボジェットのゲートが開いたので通り出国審査。前回の教訓から今度はちゃんと出国カードを書いてからイミグレに向かったが、今度はパスポートをスキャンして顔写真を撮影するだけで通過できて出国カードは不要だった。むー。無駄手間。

あとは11番乗り場へ移動して待って乗船するのみ。

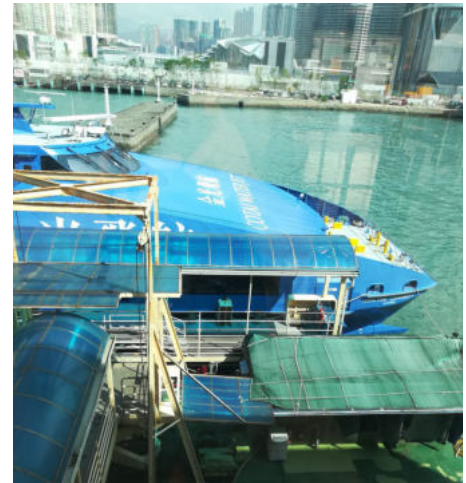
フェリーは全席指定なので、行きのチケットにはすでに



席番号が貼ってありますが、帰りのチケットでは乗る便のチェックインの時に席を確定させるようですね。帰りの便は22時頃まではあるようです。マカオでの行動予定は未定ですが、まあ余裕でしょう。

やがて時間になり、乗船します。

いよいよマカオ。改めてわくわくですよ。



マカオに到着

11時25分、フェリーは到着。酔わずに済みました。

香港を出て半ば以上通信ができていたSIMも、さすがにマカオに到着する頃には通信ができなくなっていたので、香港SIMをオフにしてマカオSIMをオンにすると、果たして普通に通信できました。よし。ほどなくイミグレも通過。ではいよいよ楽しいマカオ。マカオでの遊びも基本ノープランでしたが、今回はマカオの「南側」の港に着いたので、南側のコタイ地区にある有名な大型カジノホテルを目指すことにしました。たくさんあるコタイ地区のどのカジノホテルに行くか考えていなかったものの、近め「ベネチアン」にまずは行ってみることにしました。

フェリーポートから無料シャトルバス乗り場に移動します。途中で色々なホテルの係員が色々バウチャーを手渡してきます。これを元に行くカジノホテルを決めるのもありかも。

ベネチアン

ベネチアン行きの無料バス乗り場に移動し、来たバスに乗車。10分ほどでバスは目的地ベネチアン・カジノホテルに到着。さっそく下車して施設に入り、カジノへ。

カジノはここか。特にチェックなどもなく男2人の横を歩いて入場。

まずは軍資金を作るか、とばかりにATMを探してそこに自分のいつものクレカを突っ込み現金を確保しようと思ったら**エラー**になりました。あれ？繰り返しても同じなので諦め、たまたま財布の中に入っていた数年前に作ったものの使っていなかったANAのクレカを突っ込みキャッシングを試みると、こちらでは普通にキャッシングができました。

もしかしてキャッシング限度額か何かに引っかかったか、それともカードが停まった？

それはそれとして軍資金が確保できたので例によってブラック・ジャックを打ちますか。さてミニマム台はいくらかな…と思って探すもブラックジャックのテーブル台が見当たりません。テーブルは「**大小**」ばかりです。やがて隅っこに僅かなブラックジャックのテーブル台を発見したもののミニマムはHKD300。うーん…。

30分ほどうろたえるも「無理」と判断したのでベネチアンのカジノを去ります。



ギャラクシー

諦めてベネチアンを出て、今度は「隣」のギャラクシーへ移動することにしました。

…と書いたものの実はこの時点ではまだマカオでのスケール感を見誤っていて、ついついラスベガスの感覚で隣までなら**歩いて移動**しようとしてしまったのでした。

しかしほどなく判明しましたがここは中国文化圏。

だっ広い建物を目指して延々と長い道路を歩く羽目になりました。もちろん途中で嫌になったので沿線にあった有料バス乗り場で次のバスを待ち、1駅乗ってギャラクシーに13時には到着。30分以上の無駄足を踏んだ結果になりました。

暑かったのでギャラクシーのモール内にあったマクドナルドで冷たい「ミルク」を注文（HKD22）して一息入れてから、カジノへ入ることにしました。

しかしながらギャラクシーのカジノでも状況は変わりません。やはり大半は「大小」でブラックジャックのテーブルはあったものの一番安いミニマム台でもそのプレイ台はHKD300から。

おかしいなあ…確か3年前にゴールデン・ドラゴンに行った時はミニマム HKD100 のブラックジャック台が

あったと思ったんだけどなあ（ラスベガスの5ドル台を基準にしていた自分は、それでも「ちょっと高いね」と思って見送ったんだけど）。

もしかしたら貧乏人向けの安カジノなら HKD100 テーブルがあるのかもしれませんが。



ちなみにマクドナルドでミルクを頼まなくてもカジノに入れば「飲み物無料」では…という説もありますが、どうやらマカオのカジノでは無料の飲み物は「冷えていない500ml ペットボトルをくれる」だけのようなのでした。少なくともギャラクシー系は。

もちろんネットで読んだ「無料の食べ物」などもどこにもありませんでした。色々な意味でマカオには「ホテルによる違い」があるのかも、ないのかもしれませんが。

セナド広場へ

今日のマカオ観光のメインと位置づけていたカジノが散々な結果に終わったので、じゃあ普通の観光もしておこうかなと、北部の観光拠点のセナド広場に移動することにします。距離的にも今度は素直にギャラクシーの前でタクシーを拾います。13時半に乗車して、行き先にセナド広場を指定して普通に移動。島の北側へと向かいました。あるいはバスの路線を熟知していれば安く行けたのかもしれませんが、もういいです。

タクシーの掲示。もともとマカオ通貨である「パタカ」は、3年前も「ほぼ香港ドル」と同レートであり普通に使えたのですが、どうやら正式に「香港ドルはパタカと1:1で使用可能にすること」という決まりでもできたのでしょうか。

ともあれ、実際に先程のATMでも紙幣には「香港ドル」を指定しましたし、これからの買い物でもわざわざパタカに両替する必要がないというなら、それはありがたいですね。実際に、以前にオーストラリアの両替所では、香港ドルは引き受けてくれたけどパタカは断られた、ということもありましたし。

それはそれとしてタクシーはセナド広場の坂下に到着。HKD63を支払い、降ります。



マカオ観光

まずは拠点のセナド広場で記念撮影をしてから、周囲のスポットを回ることになりました。もっともこの辺は3年前に来たことから、一通り行こうと思ったスポットは決めていたのですが。

ということでまずは近くにあるマカオのキティショップ（Hello Kitty Obligado）へ。ここなら「キティ月餅」を売っているのではないだろうか、と思いネタ土産に買おうと思っていたのです。

3年前にはこの店を探してさんざ迷ったものの（GP 香港 2015 参加記を参照）、場所はここからすぐ近くのはずです。さてどこだったっけ、と Google Map で検索。



店の位置は特定できたものの「closed」の表示。あれ？もしかして定休日か？と思いつつ見覚えのある路地を通して店の前に行くと**つぶれていました**。今は別の店があります。いきなりマカオ観光での最大の目的地が消滅していたショックにしばしその場のベンチでへたりこむも、気を取り直して昼食にすることにしました。もう 14 時です。

裏通りをぶらぶらと歩き、適当な飯屋に入って、ココナッツスープのチキンヌードルに、コーラをつけて HKD67 を注文。

もぐもぐ。うん、いいんじゃないでしょうか。
「チキン」というのも大ぶりの骨付きのチキンが 2 本も入っていて割とワイルドなお得感。



食事を済ませて、もう少しだけ観光をすることにしました。やはり一番人気の世界遺産である「聖ポール天主堂跡」は見ておくべきでしょうね。



そこで店を出ると、聖ポール天主堂跡を目指し商店街である坂道をひたすら登ります。ふうふう言いながら坂を登り終えると、やがて目の前に聖ポール天主堂跡が見えました。到着。ありがたやありがたや。

僕はあの建物が、建物というよりは薄い壁しかないハリボテのようなものとすでに知っているの、これ以上先に進んで中に入ったり近くに寄ったりすることを試みるでもなく、これで「観光」は終了として戻ることにしました。

ウィン・カジノ

3年前に来たときには聖ポール天主堂跡からのタクシーはひどく長蛇の列であり、加えてそれを使わずに自力で歩いて下を散策して帰ろうと思って道に迷って実に酷い目にあった（GP 香港 2015 本参照）ので、今度はそれを避け通りにいた空車のタクシーを捕まえるなり乗車します。

では次はということで今度はマカオ北側の「ウィン」カジノホテルに行くことにしました。HKD45 で到着。ここでも状況が特に変わらないようであれば、もうマカオでのカジノは諦めて帰ることにしましょうか…もうマカオに来る必要はないのかなあ。

そんなことを考えながら「ウィン」カジノホテルに入りますが、何も状況は変わりません。こちらは「大小」よりも「バカラ」が目立ちましたが、いずれにせよブラックジャックのテーブルは少なく、わずかにある台のミニマムは HKD300。

マカオの北部はコタイ地区と違って比較的小さいカジノがごろごろ隣り合っているので、念の為歩いてその隣の小さいカジノホテルなどに寄ってみました。状況は変わりません。

再びギャラクシーでひと勝負

さすがにカジノはもう諦め香港に帰ろう…と思い、フェリーポートに戻ろうと思いました。この辺の大きいホテルにはフェリーポートからホテルへの送迎バスが出ている筈ですから、それに乗ればフェリーポートに無料で帰れる筈だね…と思うと目の前にギャラクシーへの無料バスが。これに乗ってギャラクシーに行けば、ギャラクシーからフェリーポートに帰るのは難しくないと思い乗車。ギャラクシーに到着するとまだ 16 時です。別に急いで香港に帰る必要もないので、いまいちどカジノを覗くことにしました。



再度ギャラクシーを覗いて探しても状況には何も変化はありません（大小やバカラばかり、ブラックジャックのミニмум HKD300）が、さすがにマカオに来たのに一度もカジノを打たずに終わるのは残念に過ぎるのではないかと、思い至ったため、意を決してここで

ひと勝負やることにしました。すなわち HKD300 のブラックジャックに挑戦。

緊張しながら ATM でおろした種銭の HKD3000 をチップに替えブラックジャックの台へ。約 5 万円ですが 10 回負ければすってしまうチップです。さすがに緊張。

大負けのリスク回避のため「これが 1500 になるか 4000 になったら止める」とルールを定めたうえで開始。

賭け方は以前と同様、まずミニмум 300 で賭け、勝てば倍で賭け、負ければ 1 倍戻し、の繰り返し。従って勝っている時には 1 回で 600 すなわち約 1 万円を賭け（ひいっ）。結果は…基本的には勝ったり負けたりしてチップは増えたり減ったりして、2 回ほど 3600 になり「あと 1 勝すれば勝って終われる！」なところまで行ったもののその 1 回を勝つことができずそこで負け、最終的には原点を割り上家に別の奴が来たらツキが一気に落ちたようでたちどころに負け続けて HKD1500 になってしまったのでそこで終了。

結果として「2 万 5 千円の負け」ではあるものの、まあ 2 回ほど「1 万 5 千円勝ち」の寸前まで行けたことだし、これは悔やんでも仕方がないかなー、という感じ。
ただやはり「ひと勝負 5 千円～1 万円」はちょっと自分には大金が動きすぎますし、時間や回数をそれほど使えもしなかったので「遊び足りない」感じです。
ラスベガスの「1 回 500 円」は期待しないにしても「1 回 1500 円」くらいで打てないものかな…次にマカオに来る時は HKD100 のテーブルがないかどうか本気で探そう。

マカオ離脱

カジノで負けて 17 時。失意のままギャラクシーを出て無料送迎バスでフェリーポートへ。あとはおとなしく帰ることにしました。

出国手続きを終え、18 時 30 分の香港行きのフェリーの乗船券を確定し席を確保。

18 時 20 分に登場が開始されて、出発。さらばマカオ。次にマカオに来るのはいつになることでしょうか…とか考えつつ、船の 1 時間は寝ているくらいで終了。

帰りの戻り先を間違える

再度の香港入国ですが、妙にイミグレの段取りが悪くなかなか進みません。加えて出国時にはパスポートだけで済んだのに入国時には紙の入国カードを要求され、列を並び直し。ようやくイミグレを通過すると 20 時。やれやれでは重慶大廈まで歩いて帰り途中で夕食にでもするか…と思ったものの、周囲を見て「ここはどこですか」状態になりました。そしてグーグルマップで現在地を確認すると…やっちゃいましたね。行きと同じフェリー駅に戻るなら「九龍」行きのフェリーに乗る必要がありました。自分はうっかり「香港」行きに乗ったわけですが、それは香港と行っても**香港島**にあるフェリー駅のこと（笑）。もちろん今日は香港島には用はありません。

仕方がないのでフェリー駅ビルを出て MRT の上環駅まで歩き、MRT 中環駅で乗り換えて尖沙咀駅に 20 時 40 分着。ただ時間と手間とちょっぴりの MRT 料金を無駄にしました。

かつや

ちょっと元気をつけたかったので「かつや」に入って、「とんかつ定食」を注文。うん、日本と同じ脂身の多い分厚いトンカツを堪能します。値段が HKD76（+10%）は少々お高つくものですが、基本は満足。22 時に宿に戻ります。

今日も gdgd だったなあ…と思いつつ、シャワーを浴びて日付が変わる頃に就寝。



2018年9月20日（木） 深圳観光の日

6時半、起床。こんな酷いベッドとシーツでもぐっすり眠れてしまう自分。

今日は深圳観光と位置づけた日。ただし深圳の観光地などはそれほど調べていません。

一昨日の香港島、昨日のマカオと「あまり下調べをせずに行っただけで残念な結果」で終了したので今日はいっそ無理せず尖沙咀でのんびりしようかな…とも思ったのですが、そのために確保した日はまだ明日があるので、深圳行きを決行することにします。

ただし目標を「深圳の観光地」ではなくて中国との国境を超えて深圳に**入るだけ**という思い切り低いラインに設定（笑）。まあ通信の用意もない（数時間だけのためにSIMを買う気もない）から向こうではネットも使えないしね…人民元は両替すればいいけど。

まずは日曜に買ったパンの残りを部屋で片付けての朝食（まだ大丈夫だよな…）。

次に発売の新セット「ラヴニカのギルド」の全カードが公開されたのでだらだら見ます。

深圳へ

出かける支度をする。

今回の香港旅行では、新調した旅行鞆にアルペジオのステッカーをうきうきと貼っていたのですが、湿気のせいかかなり残念な結果に（泣）。

今夜ヒマだろうからスーパーで木工用ボンドを買って修繕を試みるか…。



日本の財布から念の為に数枚持参していた諭吉を2枚取り出します。うち1枚は人民元に両替し今日のお小遣い、1枚は予備の予定で。まあ深圳で散財の予定も別がない。

一方で手持ちの香港ドルは2000ほどに。もう残る香港での行動予定は明日の晩のFNMドラフトに出て土曜帰国くらいなので十分これで足りるだろうけど、いまいちどクレカの停止確認もATMでしたいからもう少しおろしてみることに。香港やマカオにいずれ来る予定もあるでしょうし、香港ドルを余らせてもぜんぜん構わない。不足するよりマシ。

9時45分に宿を出る。いつもとは反対に彌敦道を背にして東に進み、東尖沙咀駅改札を探して地下に入ります。東尖沙咀のモールの案内表示の不親切さに少しだけ殺意を抱く。東尖沙咀駅でMRT西鉄線に乗り1駅だけ乗って紅磡駅でMRT東鉄線に乗り換え。

普通に座れました。あとはこのまま終点の羅湖駅まで11駅を乗ってから国境を越えれば、そこはもう中国の深圳です。

車中で、昨日買ったマカオ香港SIMがきっかり24時間で仕事をやめたようなので、一番最初買った香港SIMに切り替え。

11時に羅湖駅に到着。ホームの乗換案内のような中国への国境の案内です。



深圳に入る

毎日のように国境を超えるひと向けの簡易に入国できる方法もあるようでしたが、自分はそんなものはないので、いささかまごつきつつ入国カードを書いたりして普通に手続きを行う。指紋押捺機で手続きを行おうとしたら「もう指紋は取ってある」とのことですそれは

省略されました。すでに中国にも何度も入国してますからね。



そしてほぼ正午に入国。
深圳はかなり近代化された都市と伺ってはいたものの、お出迎えの**共産党スローガン**に「中国に来たのだなあ」と実感する。

ショッピング・モールに入る

入国してすぐの両替所で諭吉を出して 575 元を獲得。1 元 20 円と考えよう。

当初の目的であった「中国入国」は達成した。あとは基本ノープランだが、情報も通信もない状態で遠出をすることはないにしても、早々に帰ることもないね。ということで駅を出てすぐ

右手にあった羅湖商業城というショッピング・モールに入ってみることにしました。



入ってすぐのセブンイレブンでマンゴージュースペットボトル 5.5 元。やはり中国のほうが物価が安い…よね。

あとはあてもなくモールをうろつくことにしましょう。まずは昼飯。

昼飯

モールの上のフロアの「金運来」という中華料理店に入って、鶏肉のカシューナッツ炒め 55 元（安くないかな）をオーダーして待つ。

少ししてお茶とナッツとティッシュが置かれる。あれ…つまみのナッツ？ もしかしてオーダーが正しく通っていなかったのか、それともこれはお通しなのか。ぽりぽり。そして待ってもやはり料理が来ないので、店員を呼んで改めてオーダー。急ぐ旅ではないが「ううむ」な心境。

そしてしばらく待ってから、料理の鶏肉のカシューナッツ炒めが到着。

味はまあ普通。ぽりぽりもぐもぐ。



とはいえ 55 元では安くはないな…。それに
やっぱり単品じゃなくてご飯欲しかったな。
食べ終えたので出て会計。ゲッ。つまみの
ナッツは仕方ない（9 元）とはいえ、お茶
（4 元）とティッシュ（1 元）も課金された。
トータル 69 元。うーん、1500 円は高い。
まあ次に深圳に来ることがあっても、この店はないな。



足マッサージ



どうやらこのモールは「布城」「電気城」、つまり服と
電機製品のモールらしいですね。自分が歩いた所は服屋
ばかりでしたが別の電機フロアも見れば良かったかな…。

そして特にあてはないものの、「マッサージ」の看板も
目立つので、やはり足マッサージはやるかということに。

どの店にするかとぶらぶら歩いているうち、声をかけて
きた兄ちゃんに「いくら」と聞いたら 60 分で 60 元だと
いうことなので、応じる。

非常に**散らかった**…もとい雑然とした店内席に座る。
メイン商売は女性向けのネイルケアのようでもあって、

店内はおばちゃんばかり。自分にもペディキュアを勧めてきたが、もちろん断った。
しばらく待ってから店内に入ってきたおっさんにマッサージを受ける。
マッサージ自体は、まあ可もなく不可もない感じ。

マッサージが終わるなり、おっさんが「チップくれ」と言うのでまあいいかと思い10元を出すと「30元」と言われたので「ん？」と思いつつ応じ、おっさん退場。そして席を立つと店の兄ちゃんが「30元」と要求してきたので「なるほど」と思ってそのまま支払って終了。つまりあのおっさんは外の人で、店は場所貸しをやっているということなのでしょう。

トータルで60元は嘘ではなかったし別に問題はない。



香港へ



ではそろそろ香港に戻りますか。次に深圳に来るときにはもう少し色々調べてから。

駅に戻り出国手続き。ここでまたもたもたと出国カードを書くなどしてから国境通過。

そのまま再度 MRT 東鉄線に乗り、16時半には東尖沙咀に戻りました。

ブルース・リー像

まだ明るいので、もうひと観光できます。ということでせっかく東尖沙咀にいるので少し足を伸ばしてブルース・リー像を見にいくべく星光花園に行くと、ほどなく到着。やはりブルース・リー像の前にはそこそこの人がおり、スマホで撮影もしていました。もちろん自分も他の観光客にお願いして、自分との写真を撮影してきました。

星光花園は小さな公園で、ブルース・リー像のほかには大した展示はありませんでしたが、海辺であり香港島がよく見えます。夜景が綺麗そうでもあり「ビクトリア・ピークから見るには5千円もかかるけどここならタダ」とか考えてしまったものでした。

なおブルース・リー像は、本来はアベニュー・オブ・スターズに展示され、星光花園に展示されているのはアベニュー・オブ・スターズが改装中である2015年11月～2018年末までのようです。
本書を読んで星光花園に行ってもブルース・リー様は居ませんのでご注意。



夕食

そろそろ薄暗くなってきました。基本、今日はもう終了です。

そごうの地下食堂街で土産になる月餅がないかどうかを探したり（月餅はあったがネタになるようなものはないので購入見送り）した後に、夕食。



尖沙咀を歩いて普通の中華料理屋に入り牛肉炒飯を注文。HKD65 か…安くないよなあ味はまあ普通だけど…と思いつつ会計をしたらさらに10%サービス料がついてショック。150円で炒飯が食べられたミャンマーが恋しい。
今夜はお湯の出ないシャワーを浴びて、零時前に就寝。

2018年9月21日（金） FNMの日

6時15分、起床。

今日は油麻地のショッパで FNM ドラフトくらいしか予定はなくノープラン。

朝食に昨夜買っておいたパンをかじりながらネットをするが、さすがにそれも飽きてきた。

9時にシャワーからお湯が出たので、さっぱりしてから服を着て支度をして出ること。

初日の先週木曜に HKD100 で買ったプリペイド SIM の「7日/3GB」プラン HKD68 が、やはり昨日きっちり使えなくなった（データ量よりは期日だろうか）ので、残額から HKD18 の「1日/1.2GB」プランをアクティベートしたら通信回復。よし、これで明日の朝までは十分行けそう。結局、通信費は総額 HKD160 ほどで済んだ。ホテル Wifi の質も悪くないし、通信費が安いのがいいね香港。

重慶大廈の光と闇

10時過ぎに宿を出る。重慶大廈のきれいな所を歩いて3階にガシャポン自販機コーナーなど発見するも、特に投入するでもなく出る。あるいは床屋があったら利用するかとも思ったのだが、やはりこの他には美容院とネイルケアの店しか見当たらない。

ていうか右の黒い重慶大廈（中は汚い店と飯屋とSIM屋と安宿）の左にある、白くてお洒落なモール（中は美容院やネイルケアなど）が実は**同じ建物**だったとは、まあ普通は気がつきませんよね（笑）。

非常口の扉を開けない限り中は完全に隔離されているのですが。これを知ったのが、今回の香港旅行の収穫かも。



おつまみ

外をぶらぶら歩いて半屋台のような食堂があり
「黒白炸丸」（ミートボール）に惹かれたので
入店。最低 HKD20 は注文しろということで、
コーラをつけて注文。悪くない。
中身がよく分からない白黒の玉はガチャ感。
外気吹き抜けの割には意外と冷房が効いていた
ので、午後の予定などを考えながら少し粘って
から 11 時半に退店。



エヴァのコラボレストラン



ぶらぶらと歩いていて気がついたのですが、
沙嗲王（Satay King）という香港のチェーン
レストラン（※ 1）がエヴァンゲリオンとの
コラボをやっておりました。

正直、**まだエヴァですか**と自分でも思わ
ないでもなかったのですが存在に気がついて
しまった以上は入ることにしました。すでに
昼ですので、ここで昼食としましょう。まず
入店してショップオリジナル画像のチャイナ
服を来た 5 人クリアファイル（HKD29）の

購入からスタート。そして食事メニューでは、オリジナルのコラボ料理を頼む手もあった
のですが、これがあまりうまそうでもないので（笑）パスして普通の料理を注文。

※ 1 <https://www.satayking.hk/>

HKD62 でドリンクつき。うん、おいしい。レモンをかけたカツと、ホワイトソースのカレー。結局、香港で一食を千円で納めるのは無理そうなのですが昨夜の炒飯 HKD72 よりはだいぶ満足感がありますね。飲み物についてこの値段ですし。



気を良くしたので、

さらにコラボドリンク HKD29 も注文。これはボトルは持ち帰りのパイナップル・ライチソーダです。ただし炭酸が強すぎて、これはあんまり美味しくなかったですね（笑）。

あと女房との家族会議の結果、クッション HKD129 のアスカ+レイ版も購入。お金は使うためにある。なおシンジ+カヲルはスルーの方向で（笑）。

気持ちよく散財して退店。



全身マッサージ

昼食を終え、エヴァのクッションが意外と大きいのでいったん部屋に戻って出て 13 時。ではまだ時間はあるので火曜に行ったマッサージの店（P.56）に行って全身をやるか…ということで入店し、HKD359 を支払って 75 分の全身マッサージを受けます。

総じていえば**やはりの至福の時間**とは言えますが、火曜ほどの感動はなかったとも言えますね。まあ 5 千円だし足は疲れていたけど全身はそれほど疲れていなかったとも。

アニメイトへ

マッサージを終えると 15 時。そろそろ今夜の FNM を視野に入れて油麻地のショッブに移動しましょう。オクトパスに HKD100 をチャージして MRT へ。

また ATM でのキャッシングを再度試すもアウト。上限か、何かの理由で停止された？

帰国後に確認したところ、キャッシングの上限ではなくて 9 月末と 10 月末の未払いのクレカ利用総額が上限に達していたためでした。まあ 10 月のリール旅行（2 人分）の申し込みとかノート PC の新調とか、今回の香港の建て替え払いとかもあったしなあ。

最終目的地の油麻地よりもひとつ北の旺角で降りて、アニメイトへ。

アニメイトへ来たのは女房の土産に「刀剣乱舞」の香港オリジナルグッズとかなのかな…とでも思ったのですが、前回同様グッズはすべて「日本製」の輸入品だけでした。さすがに買うことはありません。コミックスの類も、特に敢えて香港で買って日本に持ち帰りたいと思えるものはなかったので何も買わずにアニメイトを後にします。



FNM 会場の店舗を確認

アニメイトを後にしてぶらぶらと徒歩で彌敦道を南下。日曜日にお世話になった吉野家やセブンイレブンの前を通って、今はもうすっかり平常運転であることを確認しながらも、やがて油麻地へ。さらにあらかじめ「店舗・イベント検索」で調べておいた住所とビルの名前をもとに、目的地であるショッブ「BASIC LAND/基本地」（※ 1）のビルを確認。

※ 1 <http://locator.wizards.com/#brand=magic&a=location&p=hongkong&loc=360768&addr=360768>

さっそく店内に入り、FNM ドラフトは 20 時からであることを確認のうえ退店。

まだ 16 時過ぎなので、あと 3 時間余りをどうするか思案しつつ油麻地の街をぶらぶらする。

MRT 油麻地駅の地下街などを歩くも、特に収穫はなし。大きいショッピングモールに行くか、と思い近くの康祐大廈（Onward Building）に入ったところで、ほどなくここは先週土曜にプレイヤー多数と入ったモールであることを思い出しました（P.25）。日本のフィギュアを扱った玩具店ばかりのモールなのですが、自分には特に興味を引くものはなく。



エヴァのコラボレストラン、再び



このモールの奥に、土曜に最初に皆を案内しようとしたレストランがあったよね…と思い出しつつ進むとそこにあったのは沙爹王の油麻地支店。なるほど、土曜のあの時には僕らをエヴァのコラボレストランでもてなそうとしたのだと気が付きました（喜んだと思います）。

いっそこで夕食にして 20 時まで粘るかとも思ったのですが**同じ店で連続飯**はノーサンキューだったので、マンゴースムージー HKD36 を注文して、しばらく涼むことにしました。あと、ちょっと冷房が強すぎて長時間居座るにはいささか寒め（汗だく半袖 T シャツでした）。

ドリンクは特に高いとも思わず、おいしくいただきました。昼食もそうでしたが基本的にこの店はコスパは悪くないと思います。のんびりして 17 時過ぎに退店。

男人街へ

引き続きぶらぶらあてもなく街歩きを楽しんでいるうちに次第に薄暗くなって来て、さらには彌敦道を横断して油麻地の西を歩くと、屋台が立っていました。

ああ、そういえばこの辺は香港の二大屋台街のひとつ「男人街」でした。これはいい！ このままぶらぶらとここで夕食も済ませ、20時まで時間を潰すことにしましょう。対の「女人街」は土曜に行ったし（P.26）これは最初から観光プランに入れておくべきスポットでした。



のんびりぶらぶらと古書店を漁り（日本のアイドル・エロ系の雑誌が多数）、現地のコミックを漁ったりします。楽しい。

さらに屋台飯。海鮮炒飯 HKD45 にコーラ HKD13。存外に量も多くて、満腹。昨日の残念中華料理よりもだいぶ安いしもちろんサービス料 10% などというものもないし。

僕がアジアンテイストとして求めていたのはコレですよコレ。まんぞく。

FNM ドラフトへ

屋台飯を済ませて引き続きぶらぶらすると 19 時半を回ったので、ショップに移動して FNM ドラフトの待機をすることにしました。40 分の時点では自分が名簿の先頭に名前を書いてあとは割と閑散としていたので「新セットの発売直前だし成立するのかなぁ」とも心配したのですが、蓋を開けてみたら認定戦として 8 名成立。やったー！

1-1 で《破滅の龍、ニコル・ポーラス》を引いたのでまずこの瞬間に**マネドラに勝利**。
 当然のように青黒赤を狙うも多色支援も引かなかったので
 ニコル様を諦め青赤で。

《破滅の龍、ニコル・ポーラス》

取りレア

Creatures: 14

《前兆語り》
 《波濤牝馬》* 2
 《稲妻牝馬》
 《ヴィーアシーノの紅蓮術師》
 《エイヴンの風魔道士》
 《どぶ潜み》* 2
 《奇怪なドレイク》
 《騒乱の悪魔》
 《秘密の回収者》
 《炎の精霊》
 《包囲破りの巨人》
 《電光吠えのドラゴン》

Spells: 10

《霊気トンネル》
 《分散》* 2
 《苦しめる声》
 《取り消し》
 《予言》
 《反逆の行動》
 《吐炎》
 《睡眠》
 《感電》

Lands: 16

《島》* 8
 《山》* 8

Sideboard :

《霧の壁》

Round1 Yuさん 黒赤 ×○×

使用デッキ

- G1 いい所を引かず負け。
 G2 十分に打点を展開したうえで《睡眠》を打って勝ち。
 G3 伸びが悪く1ターン差で負け。

Round2 白青赤緑 ○○

- G1 相手の先手ダブマリで勝ち。
 G2 事故っていたようで、並べて殴って勝ち。

Round3 Philipさん 青黒赤 ○○

- G1 順調に勝ち。
 G2 順調に勝ち。

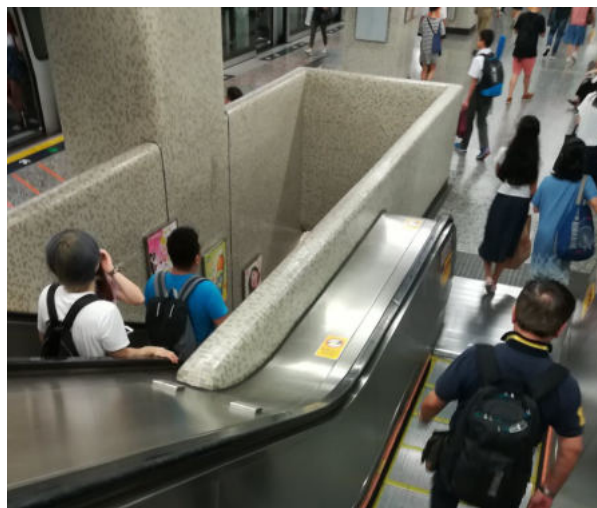
結果 2-1 でプロモを貰って終了。3-0 を逃したのは残念ですが、そこそこの結果を出せたので来て良かったですね。

あと、実は昼に沙爹王でそれなりにお金を使ったことから「HKD16 割引券」を貰ったのですがこれの有効期限が「明日から」であるため自分は使えず無駄にするよりはと、皆にそれを伝えたくて店長に「誰かにあげてください」と伝えて渡して手を振って退店。言葉があまり通じなくてもマジックは本当に楽しいです。

帰国の準備

ドラフトを終えて退店すると 22 時。もう普通に宿に戻ってマジック日記を書いて明日の帰国準備をしたら今日も終了です。

MRT 油麻地駅に入り、荃湾線のホームへのエスカレーターに乗ります。油麻地駅では、荃湾線と觀塘線の 2 本の階数違いホームへのエスカレーターが横に並んでおり、日曜にちえけださんと会場に向かったときに掲示をよく見ず左右それぞれのエスカレーターに乗ってしまって**生き別れ**のロスタイムがあったことを思い出しました (P.27) 。左が觀塘線、右が荃湾線。まあ乗る前にちゃんと確認しろという話 (笑) 。



尖沙咀まで 2 駅でほどなく到着。

スーパーで今夜の飲み物を買って宿に戻りシャワー。今夜はちゃんとお湯が出ました。今日のマジック日記を書いて DiaryNote にアップロードして終了。

明日は 6 時起きで 7 時に宿を出るくらいの予定なので、今夜のうちには荷造りを済ませておくべく部屋に散らばっている荷物の整理を行い、これも完了。

結果的には**9 泊 10 日**になってしまった今回の香港旅行も、いよいよ終了です。日付が変わる頃に就寝。

2018年9月22日（土） 帰国の日

6時起床。もう MRT は動いているだろうから、まずは空港に向かってしまおう。朝食もその後でいいや。

カートを引いてフロントに行くと誰もいないのは想定の内とはいえ、呼び出しベルも何ともありません。ちょっと待てこれチェックアウトをどうすればいいのだ。カードキーのデポジット HKD100 も返して貰う必要があるのだが。フロントに同様に困っている風の若い外人女性1人客も居たので「どうしたものか」とかしばし話す（英語で）。

やがて通用口を掃除オヤジが通ったのでチェックアウトを聞くと「9時まで待て」という返事。おい冗談じゃないスタッフを呼んでくれと言ったら**断ってきた**。何だと。声を荒げて馬耳東風で一言で言えばこのオヤジのせいでこの宿の評価が最悪へとダウン。飛行機の時間もあるしあと2時間ここに居るなど論外なので「デポジットを返す気がないのならこのキーを持ち帰ろうか」とか言いつつさすがに不毛なので腹いせに4文字言葉を叫んだりしつつフロントのカウンターの上にカードキーを放り投げ6時半には重慶大廈を退場。たぶんあそこにいた女性も同じことをやったんだろうなぁとか思いつつ。

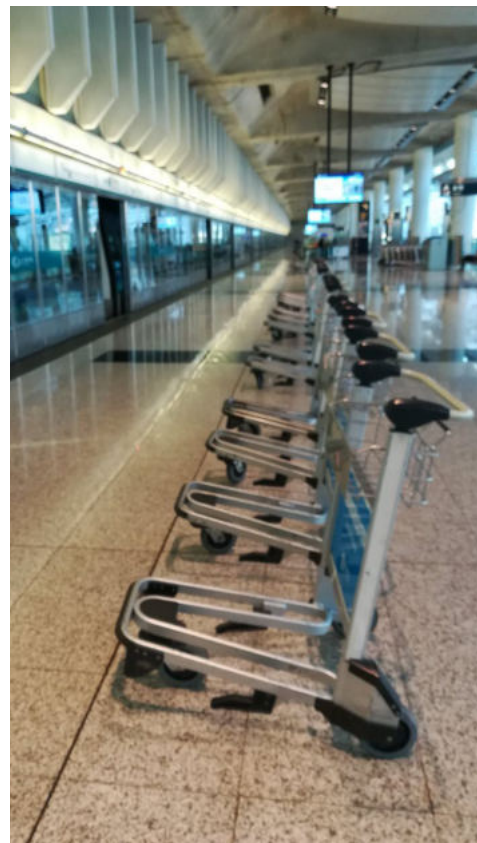
あとでホテルレビューを再度読んだら「デポジット返却でごねられた」とかあったので HKD100 踏み倒しは割と計算済なのかもなぁとか考えました。

空港へ

カートを引いて MRT 尖沙咀へ行き、荃湾線に乗車。荔景駅で東涌線に乗り換えて1駅で青衣駅。ここでエクスプレスに乗り換えて7時には乗車し、7時13分には空港駅に到着。このペースで着けたのなら9時とは言わず8時頃まではホテルで粘っても良かったか…と思えなくもないものの、いや、やっぱりないな。何よりもあの狭くて暗くてじめじめしている部屋で時間をただ潰すのは結構つらいです。そこまでして HKD100 を惜しめない。

エクスプレス空港駅を降りると、目の前にずらりとカートが「さあ使え」とばかりにお出迎え。いいね。1台借りて旅行バッグを乗せて手押しする。

7時半に空港のバーガーキングに入り、朝食。ダブルワッパーのセット HKD74。特に書きたいことはなし。のんびり食べてダブルワッパーひとつで満腹に。



ゲート前へ

空港 Wifi も使えたのでソシャゲ SNS で時間つぶしなどしつつ、そろそろフライト 2 時間前になる 9 時前に香港エクスプレスのカウンターに移動。

40 人くらいいたチェックイン待ちの列に並ぶが、4つのカウンターでテキパキと捌いており 9 時 20 分にはチェックイン終了。なお、預け荷物はずいぶん余計なものも詰めた（捨てても構わない水の余ったペットボトルとか）が 19.8kg だったのでそのまま通過。続いてその 10 分後にはイミグレを通過し、さらにその 10 分後にはセキュリティを通過。シャトルを乗り継いで 208 ゲートのある駅で降り、9 時 40 分には 208 ゲートに到着。ここまでくれば、あとは 1 時間待って搭乗すれば今回の香港旅行も終了です。

最後のおかいもの

時間つぶしにぶらぶら近くの売店などを歩きます。

オクトパスのチャージがマイナスになっていたのも、次に香港に来た時にすぐ使えるよう HKD100 ほどを入れてしておくことにしました。

あとは妻に土産のひとつも買うかということで探すと、どうやら「HKD229 以上のチョコレートを買うと、キティ人形を HKD99 で購入できる」というキャンペーンをやっていました。これだな。

妻に連絡して欲しい方の人形を聞いてから、あとは HKD80 ほどの M&M の大袋を 4 つ手に取って（3 つ買うと 1 個無料もやってました）レジに行き、人形を選んで HKD99 を加算してゲット。



帰国

10 時半には何ごともなく搭乗が開始され、11 時 50 分には自分も搭乗して正午には離陸。特に書くほどのこともなく 3 時間後の 16 時過ぎ（ここからは日本時間で記します）には成田空港に到着。

シャトルに乗車して 16 時半には入国手続を終えて、ほどなく荷物も回収。

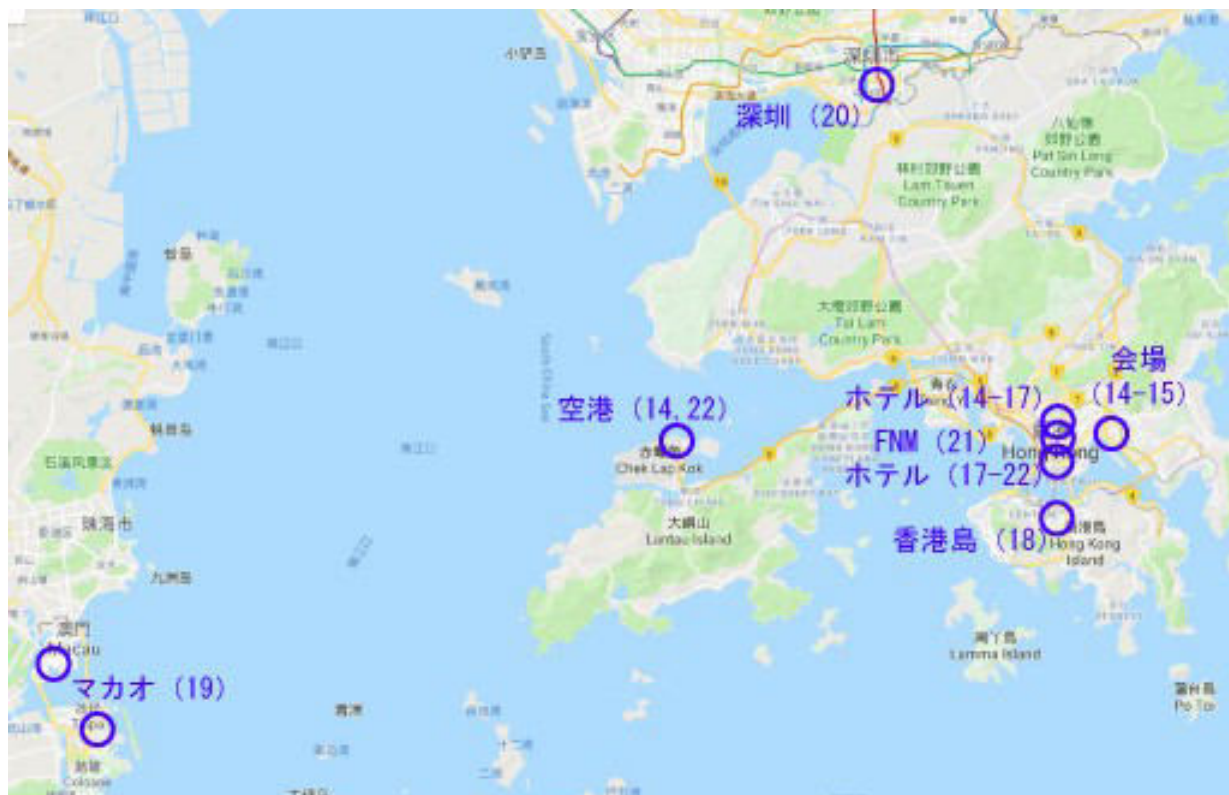
16 時 45 分には京成電鉄のホームに立ちその 10 分後には乗車。

18 時には青砥駅に到着して駅前でタクシーを拾い、その 10 分後には帰宅。妻には風呂を立てて貰っていたのでさっそく入り、だいぶさっぱりと生き返りました。

おうちに帰るまでが GP であり、これで GP 香港 2018 も無事に終了しましたが、今回に関してはひときわ「マジック・ザ・ギャザリング」より「香港観光」の側面が強く何より「GP 台風」になってしまった感のある旅行ではありました。

(完)

今回訪れた主なスポットは、こちらになります。



Copyright:Google

さすがに香港市内で9日間に訪れた場所を全部のプロットはできないので、いつもよりはだいぶ大雑把な地図になります。

そういえば一応「国境」を4回超えてるんですよね…まあ深圳はもとより香港もマカオもいまはもう「中国」ではあるのですが。

GP 香港 2018 参加記 (v1.00)

発行：新小岩マジック <https://twitter.com/kondohi>

発行日：2018年12月29日

印刷所：日光企画

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます

筆者（ひろじ）について：

<https://twitter.com/kondohi> （ツイッター。最近はここメインです）

<http://otakutalker.diarynote.jp/> （ダイアリーノート。マジック関連はここで）